

**第5次綾部市総合計画後期基本計画
市民等意識調査結果
報告書
(平成26年度)**

平成27年3月
綾部市

目次

I 市民意識調査・分析

I-1	調査概要	I-1
I-2	調査結果	I-5
2.1	まちの暮らしやすさやイメージについて.....	I-5
2.2	綾部市のまちづくりに対する意識について.....	I-12
2.3	まちづくりへの参加について.....	I-24
2.4	綾部市に「住んでよかった」と感じる時について.....	I-28
2.5	あなたご自身のことについて.....	I-29
2.6	自由意見	I-32
I	参考資料	I-35

I

市民意識調査・分析

I-1 調査概要

- ①調査の目的：第5次総合計画後期基本計画策定に当たり、前期基本計画に対する市民の評価と、後期基本計画に対する市民ニーズを把握するために実施。
- ②調査の対象：住民基本台帳から16歳以上無作為抽出（市民2,000人）
（抽出について下の枠内参照）
- ③調査の方法：アンケート調査票の郵送発送、郵送回収
- ④調査期間：平成26年8月30日～9月22日
- ⑤有効回答数：776（回収率38.8%）

【必要標本数の決定】

統計学上必要な
標本数は
右の式で決定される。

$$\text{標本数} \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

N（母集団）：調査対象の全体。ここでは16歳以上の市民。平成26年3月末31,071人。

e（標本誤差）：標本統計量の精度。ここでは政府世論調査等が使用する3%程度を用い3%。

k（信頼率）：ある信頼係数のもとで母数がある範囲に含まれると推定される区間。95%信頼区間とは調査を100回繰り返した結果が95回位は平均の結果内に含まれること。
ここでは信頼率95%とし、それに対応する係数k=1.96を用いる。

P（母比率）：母集団におけるある条件を満たす対象の比率。ここでは最も安全な50%採用。

上記の条件において、標本数は1,032。

前回アンケート調査回収率51%から2,000人を対象とした。

【有効回答数における標準誤差】

有効回答数からみた標本誤差は、e（標本誤差） \div 3.5%

（最も誤差の多い場合（回答結果50%）、誤差 \div ±3.5%）

⑥調査項目：

1. まちの暮らしやすさやイメージについて
 - 【問1】暮らしやすさ評価
 - 【問2】市への愛着
 - 【問3】定住意向
 - 【問4】定住希望の理由
 - 【問5】移転したい理由
 - 【問6】市の出来事等への関心の有無
2. 綾部市のまちづくりに対する意識について
 - 【問1】施策の満足度・重要度
 - 【問2】重点課題の優先順位
3. まちづくりへの参加について
 - 【問1】まちづくりへの参加の状況
 - 【問2】まちづくり活動の内容
 - 【問3】まちづくりへの参加の条件
 - 【問4】今後参加したいまちづくり活動
4. 綾部市に「住んでよかった」と感じる時について
 - 【問1】綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」
5. あなたご自身のことについて
6. 自由意見

⑦主なクロス集計の考え方：

地域別や年齢別のクロス集計において、標本数を考慮した信頼性確保と、地域特性や年代特性を比較しやすい観点から、以下の区分で行う。

クロス集計	集計の単位	特性の考え方
地域別	綾部・中筋	中心市街地やそれに近い地域として「綾部地区」「中筋地区」を「綾部・中筋」、それ以外の10地域「奥上林地区」「中上林地区」「口上林地区」「山家地区」「東八田地区」「西八田地区」「吉美地区」「豊里地区」「物部地区」「志賀郷地区」を「農山村地域」として分析を行う。
	農山村地域	
年齢別 ※	60歳未満	高齢者のニーズを把握するため、「60歳以上」の年齢層と、それ以外の「60歳未満」の年齢層に分けて分析を行う。
	60歳以上	
世帯内高校生以下の子ども有無別	小学生以下	子育て世帯のニーズを把握するため、世帯内に小学生以下がいる場合「小学生以下」、中学生～高校生しかいない場合「中学生～高校生」、高校生以下の子どもがいない場合「子どもなし」として分析を行う。
	中学生～	
	高校生	
	子どもなし	

※施策評価（2問1）のみ、子育てや就労に関する若い世代のニーズを把握するため、40歳未満と40歳以上に分けて分析している。

【注意】上記以外クロス集計において標本数（n 或いはカッコで表記）が少ないもの（12地区別、年代別等）については、標本誤差に留意して参考値として参照する必要がある。（例えば、本報告書1頁で設定した信頼率95%とすれば、n=379のとき回答が50%（P=50%）の場合の誤差 $\approx \pm 5\%$ 、n=96のとき回答が50%（P=50%）の場合の誤差 $\approx \pm 10\%$ ）



⑧回 収 率：

回収状況（地域別・年齢別）を以下に示す。網掛け部分は回収率 50.0%以上を表す。（市全体は地域区分なしも含む。）

	回収率							
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
奥上林	48.4%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	66.7%	50.0%
中上林	38.4%	50.0%	0.0%	20.0%	0.0%	35.7%	40.0%	51.9%
口上林	52.4%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	40.0%	80.0%	64.3%
山 家	31.6%	11.1%	0.0%	20.0%	22.2%	18.2%	54.5%	36.7%
東八田	40.7%	16.7%	20.0%	46.7%	7.1%	40.0%	51.5%	51.4%
西八田	41.1%	28.6%	13.3%	42.9%	42.9%	42.9%	38.5%	62.5%
吉 美	32.3%	15.4%	12.5%	25.9%	34.6%	35.7%	45.0%	40.9%
綾 部	39.4%	15.4%	19.5%	27.5%	38.3%	35.9%	51.2%	58.9%
中 筋	30.7%	21.4%	18.2%	16.4%	29.8%	25.6%	34.5%	53.3%
豊 里	40.3%	14.3%	11.1%	22.2%	25.0%	48.5%	47.1%	56.9%
物 部	35.9%	25.0%	18.2%	50.0%	16.7%	31.3%	39.1%	46.2%
志賀郷	40.5%	0.0%	14.3%	16.7%	40.0%	0.0%	48.0%	55.2%
市全体	38.8%	17.8%	17.6%	26.2%	31.7%	35.7%	48.2%	53.9%

⑨グラフの見方：

- ・グラフに付加されている「n」または「()」は質問に対する回答者数を表している。
- ・「MA」は複数回答（3つまでなど）を表している。
- ・結果数値（%）は、少数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100%にならないことがある。
- ・複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える。

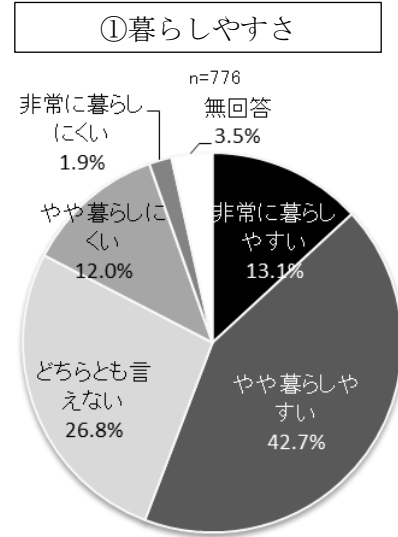
I-2 調査結果

2.1 まちの暮らしやすさやイメージについておたずねします。

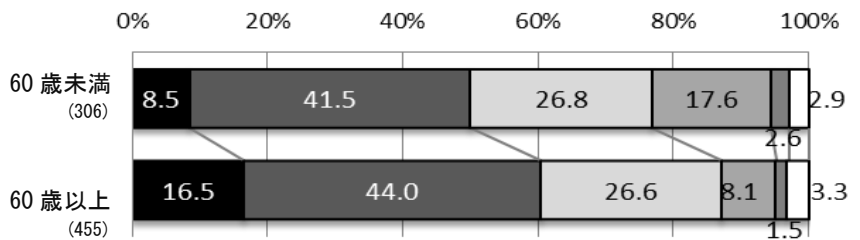
【問1】暮らしやすさ評価

綾部市は暮らしやすいですか。

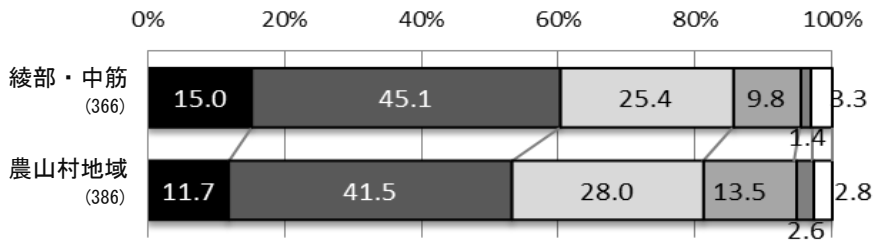
- ①「やや暮らしやすい」が42.7%で最も多く、「非常に暮らしやすい」と合わせると、6割弱が暮らしやすいと評価している。一方で1割強が暮らしにくいと評価している。
- ②年齢別では、60歳以上の方が暮らしやすいという評価が多い。
- ③地域別では、綾部・中筋の方が暮らしやすいという評価が若干多い。
- ④世帯内高校生以下子ども有無別では、小学生以下の子どもがいる世帯で「非常に暮らしやすい」の評価が他に比べると多い。



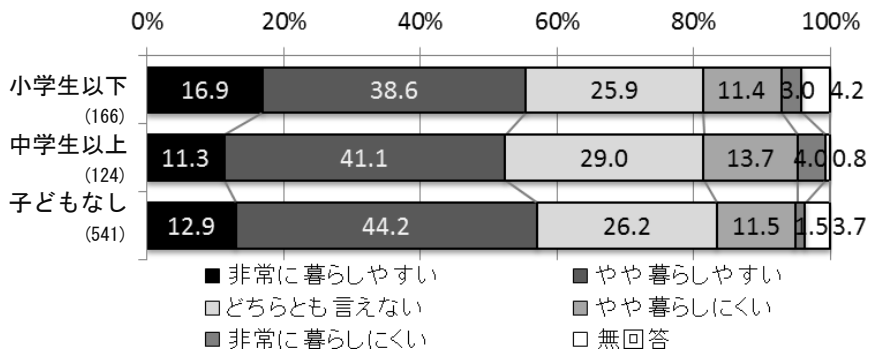
②暮らしやすさ／年齢別 (60歳未満、60歳以上)



③暮らしやすさ／地域別 (綾部・中筋、農山村地域)



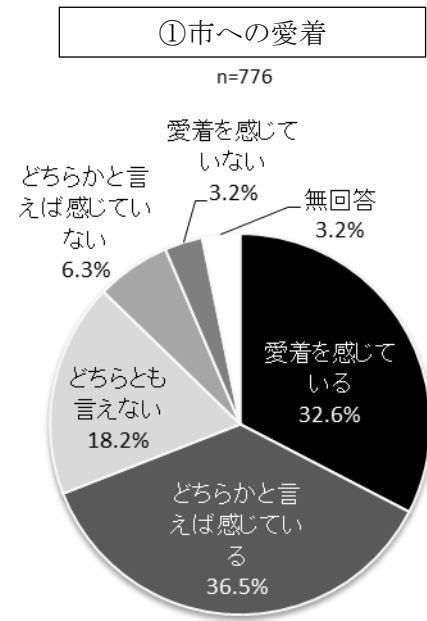
④暮らしやすさ／世帯内高校生以下子ども有無別 (小学生以下、中学生～高校生、子どもなし)



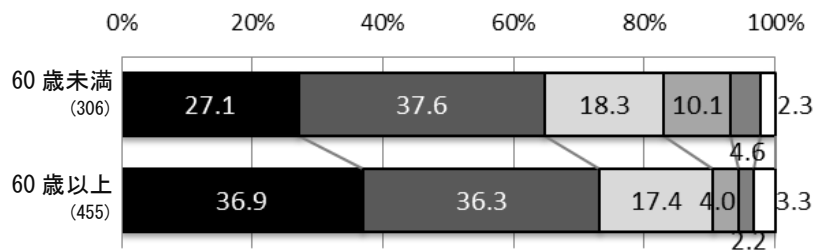
【問2】市への愛着

あなたは、綾部市に「わがまち」といった愛着を感じていますか。

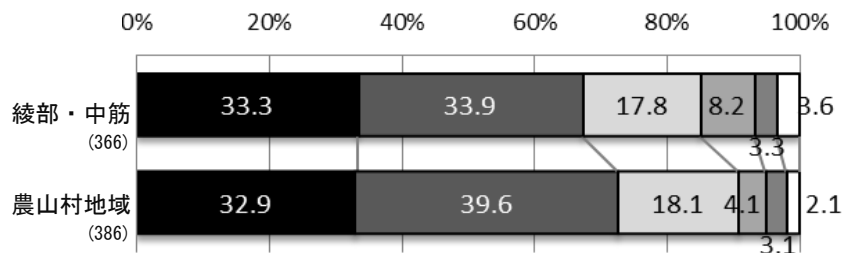
- ①「わがまち」といった愛着を「どちらかと言えば感じている」が36.5%、次いで「愛着を感じている」が32.6%で、7割弱が愛着を感じている。一方で感じていないのは1割弱となっている。
- ②年齢別では、60歳以上の方が愛着を感じており、「愛着を感じている」が36.9%、次いで「どちらかと言えば感じている」が36.3%と約7割が愛着を感じている。
- ③地域別では、綾部・中筋と農山村地域で大きな差は見られないが、農山村地域の方が「どちらかと言えば感じている」が若干多い。
- ④世帯内高校生以下子ども有無別では、中学生～高校生の子どものいる世帯で「愛着を感じている」が他に比べて多く、「どちらかと言えば感じている」と合わせると、愛着を感じている人が7割を超える。



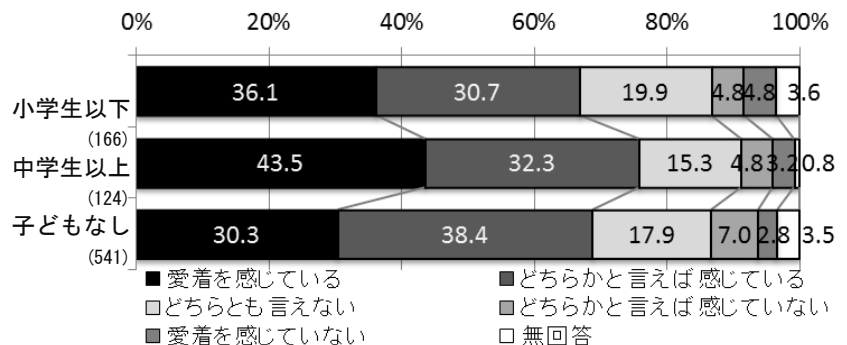
②市への愛着／年齢別
(60歳未満、60歳以上)



③市への愛着／地域別
(綾部・中筋、農山村地域)



④市への愛着／世帯内
高校生以下子ども有無別
(小学生以下、中学生～高校生、
子どもなし)

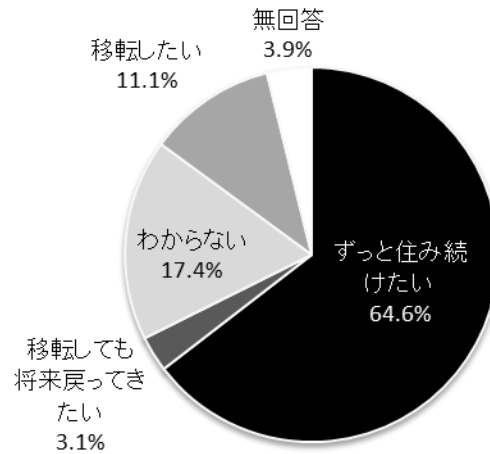


【問3】定住意向

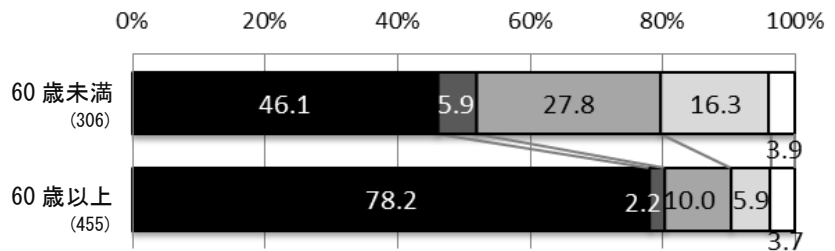
あなたは、綾部市に住み続けたいと思いますか。

- ①「ずっと住み続けたい」が64.6%で、「移転しても将来戻ってきたい」を合わせると7割弱が住み続けたいとしている。
- ②年齢別では、60歳以上で「ずっと住み続けたい」が約8割を占める。60歳未満では、「ずっと住み続けたい」は5割弱にとどまり、一方で「わからない」が3割弱を占める。
- ③地域別では、綾部・中筋で「移転したい」が1割強あり、農山村地域に比べると多い。
- ④世帯内高校生以下子ども有無別では、中学生～高校生の子どものいる世帯は、他に比べて住み続けたい意向が強い。一方で、子どもがいない世帯に比べて子どもがいる世帯の方が、「移転したい」も多くなっている。

①定住意向
n=776



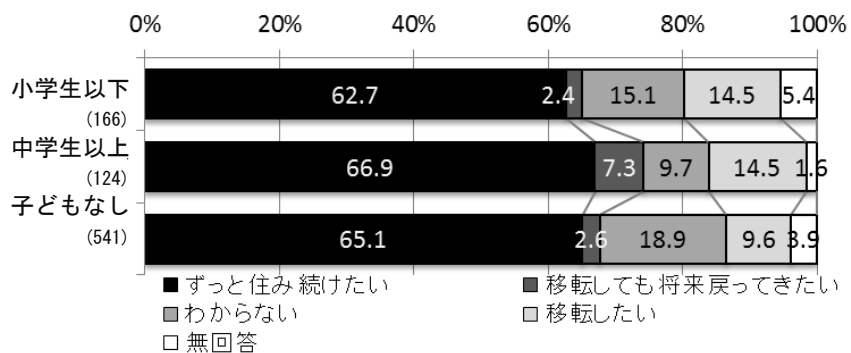
①定住意向／年齢別
(60歳未満、60歳以上)



③定住意向／地域別
(綾部・中筋、農山村地域)

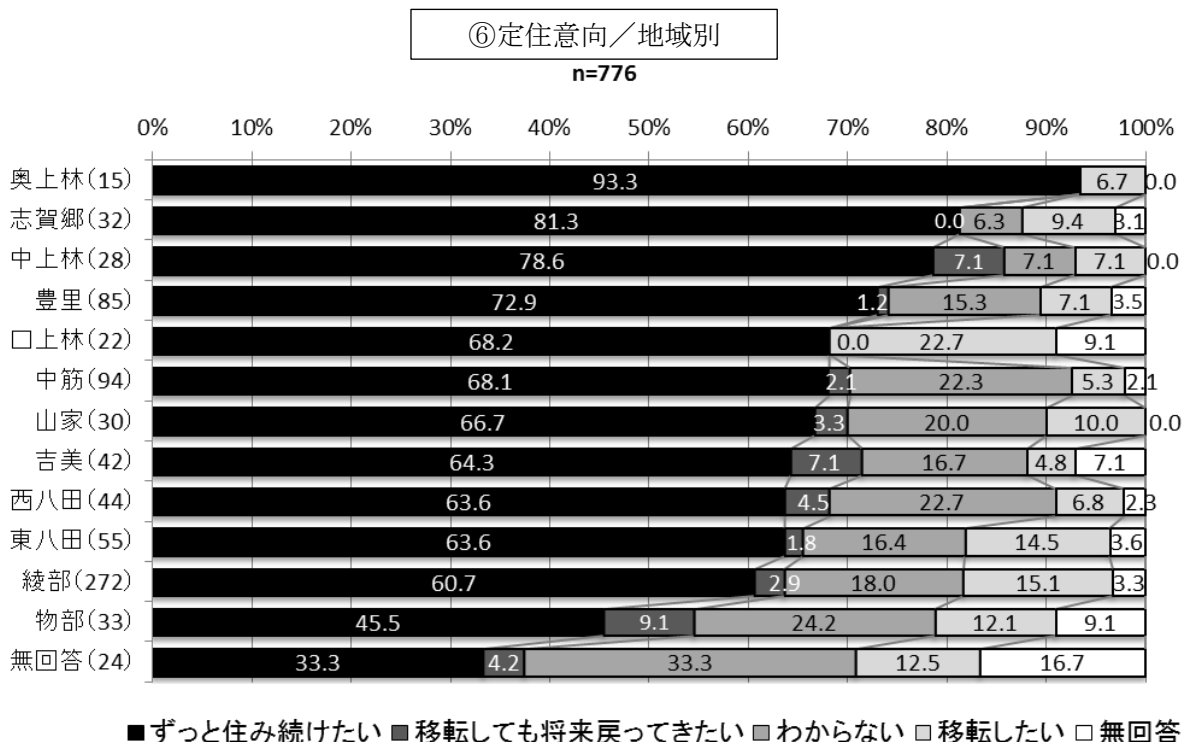
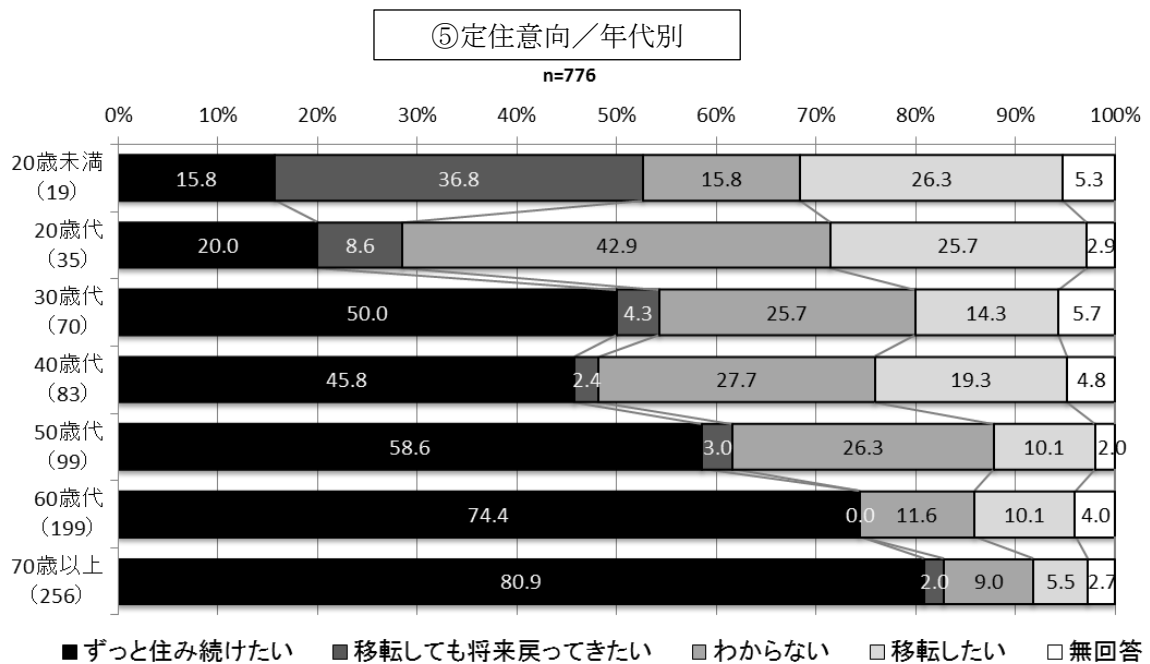


④定住意向／世帯内高校生以下子ども有無別
(小学生以下、中学生～高校生、子どもなし)



⑤年代ごとに集計すると、20歳代以下で「ずっと住み続けたい」が2割以下となっている。20歳未満で「移転しても将来戻ってきたい」が36.8%と多い一方、20歳代は8.6%と少なくなっている。30歳代から50歳代未満までは「ずっと住み続けたい」が約5割を示し、50歳代以上は年齢が高くなるにつれ定住意向が強くなる傾向が見られる。

⑥12地区ごとに見ると、物部地区で「ずっと住み続けたい」が45.5%で、他地域の6割以上と比べると少ない。奥上林では「ずっと住み続けたい」が93.3%を示し、定住意向が非常に強い。



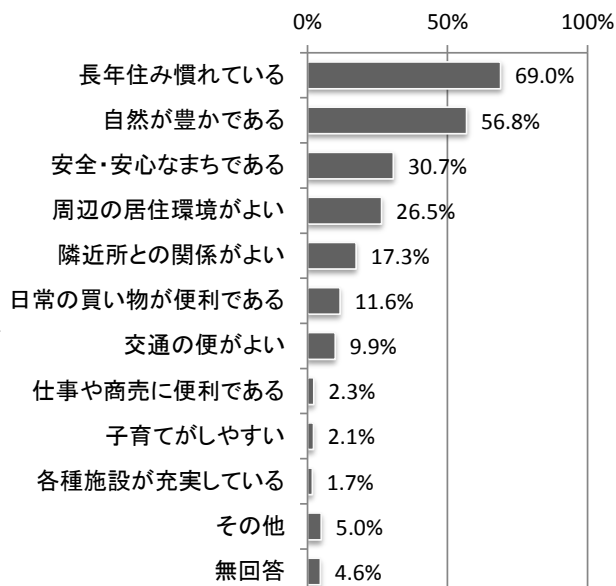
【問4】定住希望の理由

問3で「1」と「3」（ずっと住み続けたい、移転しても将来戻ってきたい）と答えた方に伺います。住みたい理由は何ですか。（3つまで）

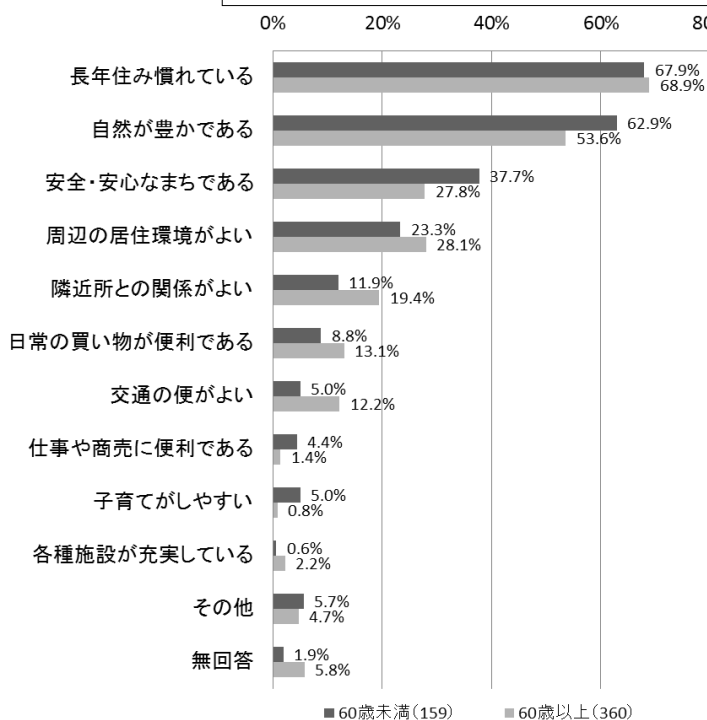
- ①「長年住み慣れている」が7割、次いで6割弱が「自然が豊かである」を住みたい理由に挙げている。
- ②年齢別では、上記の二項目に次ぐ理由が、60歳未満では4割弱が「安全・安心なまちである」、60歳以上では3割弱が「周辺の居住環境がよい」としている。
- ③地域別では、全市の定住希望の理由と上位4項目が同順位であり、これに次ぐ理由は、綾部・中筋では、「日常の買い物が便利である」、農山村地域では「隣近所との関係がよい」となっている。
- ④「その他」としては、24件の記述があり、親戚や家族と同居しているや、近隣に住んでいる、先祖代々住んでいるためといった地縁・血縁関係によるものが多く、また災害が少ない、住宅を購入したため、高齢による理由などがある。

①定住希望の理由 (MA)

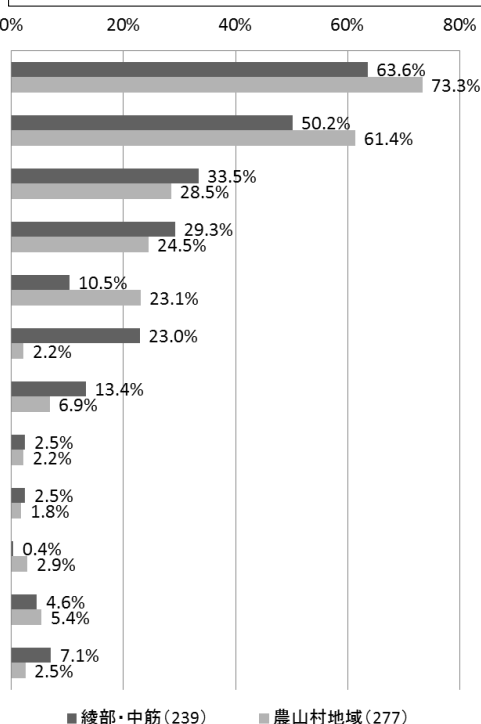
n=525



②定住希望の理由／年齢別
(60歳未満、60歳以上) (MA)



③定住希望の理由／地域別
(綾部・中筋、農山村地域) (MA)



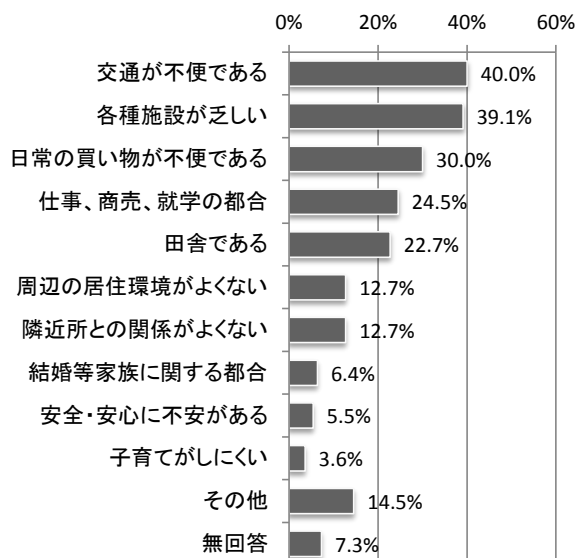
【問5】移転したい理由

問3で「2」と「3」（移転したい、移転しても将来戻ってきたい）と答えた方に伺います。移転したい理由は何ですか。（3つまで）

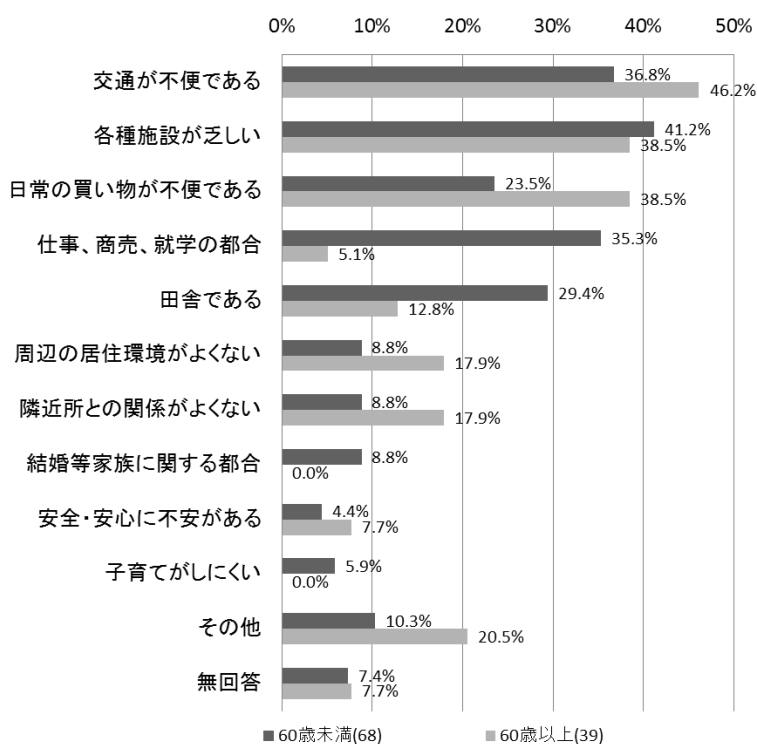
- ①移転したい理由は、「交通が不便である」「各種施設が乏しい」が約4割と多くなっている。「安全・安心に不安がある」や「子育てがしにくい」については、数パーセントにとどまっている。
- ②年齢別では、60歳未満で「各種施設が乏しい」が4割強と最も多く、次いで「交通が不便である」、「仕事、商売、就学の都合」の順となっている。60歳以上では、「交通が不便である」が5割弱と最も多く、次いで「各種施設が乏しい」、「日常の買い物が不便である」が約4割を占めている。
- ③地域別では、綾部・中筋では「各種施設が乏しい」が4割強、農山村地域では「交通が不便である」が4割強と最も多い。「日常の買い物が不便である」は、農山村地域の方が1割以上多くなっている。
- ④「その他」としては、15件の記述があり、税金・水道料金の高さ、自治会の負担が大きいといった理由が挙げられている。

①移転したい理由 (MA)

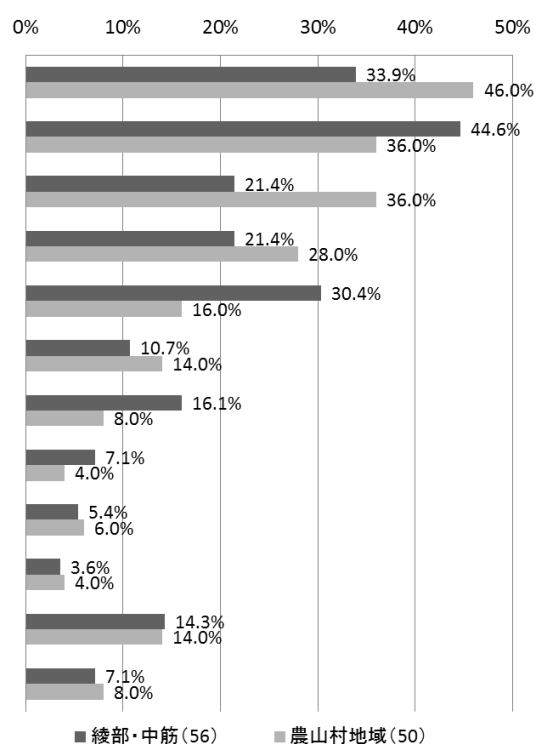
n=110



②移転したい理由／年齢別
(60歳未満、60歳以上) (MA)



③移転したい理由／地域別
(綾部・中筋、農山村地域) (MA)



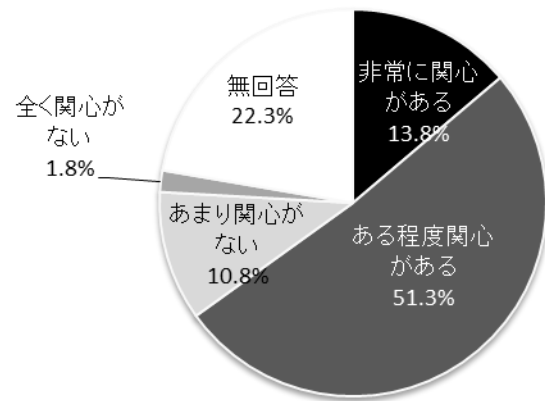
【問6】市の出来事等への関心の有無

あなたは、綾部市の出来事などにどの程度関心を持っていますか。

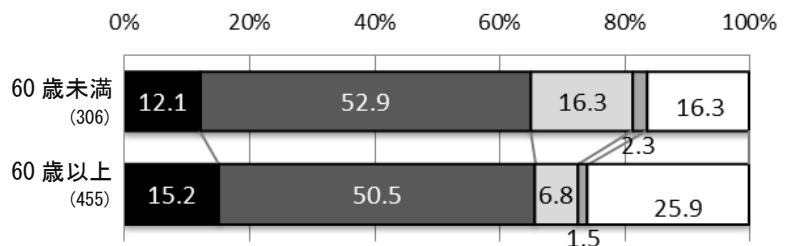
- ①「非常に関心がある」が13.8%、「ある程度関心がある」が51.3%で、これらを合わせた市の出来事に関心があるのは、6割強となっている。
- ②年齢別では、60歳未満は「あまり関心がない」が2割弱あり、60歳以上に比べると多い。
- ③地域別では、綾部・中筋の方が若干関心は高くなっている。

①市の出来事等への関心の有無

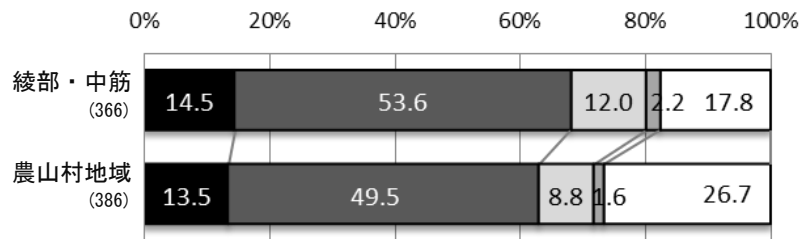
n=776



②市の出来事等への関心の有無／年齢別
(60歳未満、60歳以上)



③市の出来事等への関心の有無／地域別
(綾部・中筋、農山村地域)



■ 非常に関心がある
 □ あまり関心がない
 □ 無回答
 ■ ある程度関心がある
 □ 全く関心がない

2.2 綾部市のまちづくりに対する意識をおたずねします。

【問1】施策の満足度・重要度

綾部市が前期基本計画で取り組んだ「施策の目標」に対する現在の満足度と今後の重要度についてそれぞれ5段階ではまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

■満足度

- ・ほとんどの項目で「どちらともいえない」が3割以上を占めている。
- ・「満足」、「やや満足」を合わせた評価が4割以上ある項目は、
 - 「上水道の安定供給」57.1%、
 - 「廃棄物対策の推進」51.3%、
 - 「消防・救急体制の充実」49.5%、
 - 「保健の推進」48.0%、
 - 「斎場・墓地の適正管理」46.1%、
 - 「医療体制の充実」44.7%、
 - 「生活の安全性の向上」44.4%、
 - 「下水道の整備」40.7%の8項目である。
- ・対して「やや不満」、「不満」を合わせた評価が3割以上である項目は、
 - 「商業の振興」42.0%、
 - 「土地利用と市街地の形成」38.9%、
 - 「地元雇用の確保」37.8%、
 - 「公共交通の充実」30.7%、
 - 「工業の振興」30.3%の5項目である。

■重要度

- ・重要度は、どの項目も「重要」、「やや重要」を合わせると5割以上を占めており、中でも8割以上を占める項目は、
 - 「医療体制の充実」85.7%、
 - 「防災対策の推進」85.1%、
 - 「高齢者福祉の推進」82.8%、
 - 「地元雇用の確保」82.2%、
 - 「消防・救急体制の充実」81.6%、
 - 「生活の安全性の向上」80.6%、
 - 「廃棄物対策の推進」80.2%の7項目である。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

満足度

凡例

満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満 無回答

市民が輝き共に築くまち

人権尊重社会の実現	4.3	32.1	52.8	4.4	2.2	4.3
市民活動の促進	3.6	28.7	53.4	8.0	1.7	4.6
男女共同参画社会の実現	1.5	22.0	61.5	8.2	2.3	4.4
平和の発信と交流	3.5	28.7	52.4	8.0	2.7	4.6

心豊かな人と文化を育むまち

幼児教育の充実	2.4	25.0	54.4	10.6	1.7	5.9
学校教育の充実	2.5	21.6	53.2	13.7	3.5	5.4
社会教育の充実	1.2	13.4	66.2	11.0	2.3	5.9
青少年健全育成の推進	1.9	15.5	62.0	12.1	2.7	5.8
文化・芸術の振興	3.6	27.2	52.3	8.6	3.1	5.2
スポーツの振興	3.2	31.7	49.9	8.0	2.1	5.2

支えあい安心して暮らせるまち

子育て環境の充実	2.3	24.1	47.3	15.1	5.3	5.9
高齢者福祉の推進	4.4	33.1	42.1	13.3	4.1	13.0
障害者福祉の推進	2.6	23.2	55.7	11.5	2.3	4.8
地域福祉社会の実現	2.4	25.4	53.1	12.2	2.2	4.6
保健の推進	7.0	41.0	38.5	7.3	1.9	4.3
医療体制の充実	8.2	36.5	33.0	12.6	5.3	4.4
社会保障の適正運営	2.1	22.7	56.2	10.2	3.7	5.2

生み出すまち

農林業・内水面漁業の振興	1.0	11.6	56.4	17.4	7.3	6.2
農村の活性化	1.7	15.6	54.4	16.8	6.3	5.3
商業の振興	0.8	7.2	44.6	30.3	11.7	5.4
工業の振興	0.8	15.9	47.2	23.1	7.2	5.9
観光交流の推進	1.2	13.0	54.0	19.3	7.3	5.2
地元雇用の確保	1.2	9.7	45.7	25.3	12.5	5.7

自然豊かで安全なまち

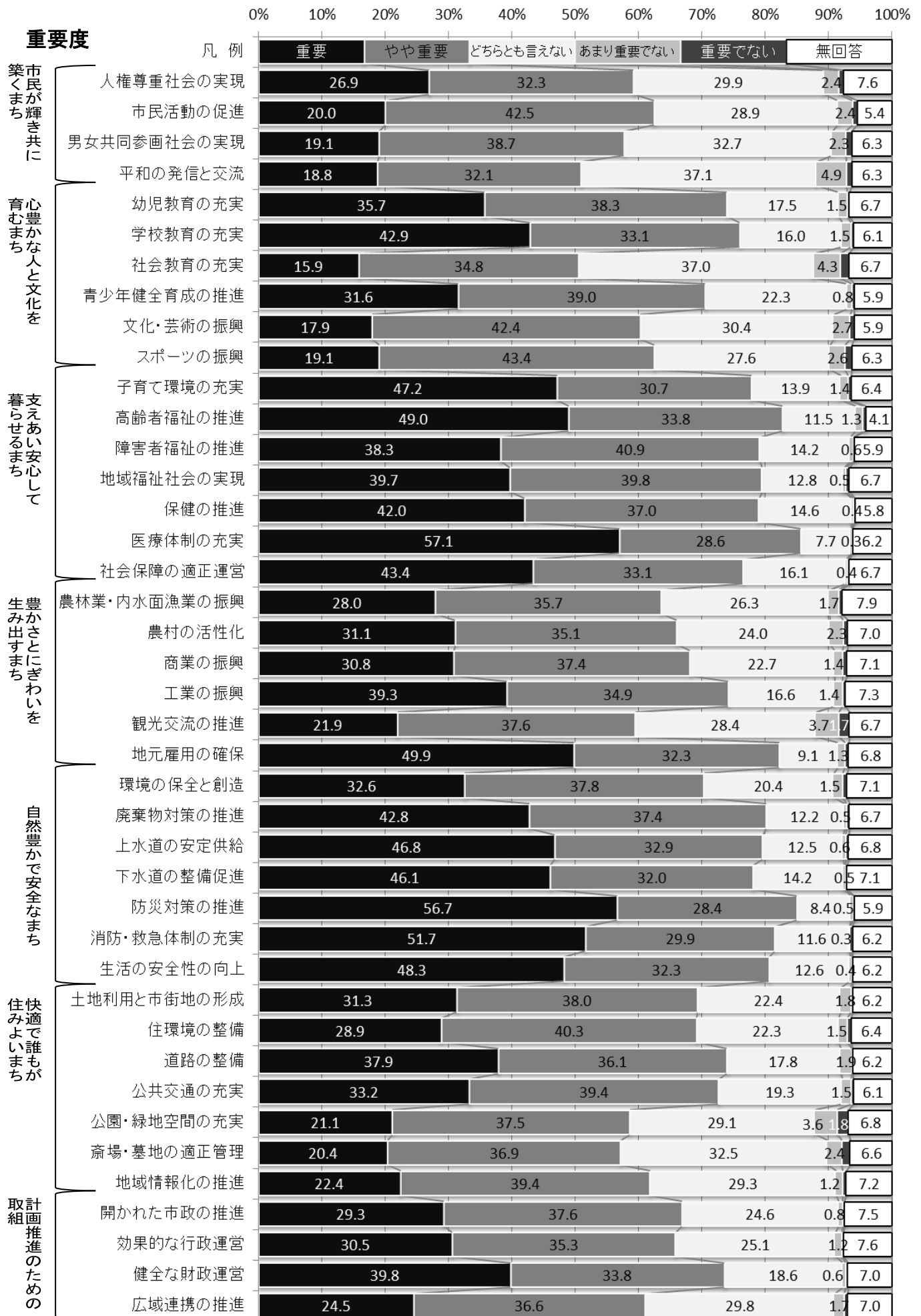
環境の保全と創造	2.6	21.0	55.7	12.2	3.4	5.2
廃棄物対策の推進	10.1	41.2	30.9	9.7	3.7	4.4
上水道の安定供給	16.9	40.2	25.6	8.5	4.5	4.3
下水道の整備促進	9.5	31.2	34.5	13.3	7.3	4.1
防災対策の推進	3.7	24.9	45.5	16.6	4.4	4.9
消防・救急体制の充実	9.3	40.2	38.8	5.3	1.5	4.9
生活の安全性の向上	5.0	39.4	43.0	5.8	1.9	4.8

快適で誰もが住みよいまち

土地利用と市街地の形成	1.3	38.1	46.6	27.6	11.3	5.0
住環境の整備	2.4	14.9	54.5	17.1	5.5	5.4
道路の整備	4.3	23.3	40.6	18.9	8.1	4.8
公共交通の充実	2.4	20.5	42.0	20.0	10.7	4.4
公園・緑地空間の充実	3.6	19.3	46.3	16.5	9.1	5.2
斎場・墓地の適正管理	12.2	33.9	43.0	4.3	1.3	5.3

計画推進のための

地域情報化の推進	3.5	18.2	55.3	13.7	3.5	5.9
開かれた市政の推進	3.4	21.0	55.0	11.3	3.1	6.2
効果的な行政運営	2.3	16.1	60.7	9.8	4.5	6.6
健全な財政運営	2.8	20.0	54.6	12.6	4.3	5.7
広域連携の推進	1.9	14.0	65.7	9.9	2.3	6.1



施策の比較分析

施策ごとの満足度・重要度において、回答選択肢 1（不満、重要でない）から選択肢 5（満足、重要）まで、それぞれ 100 点、75 点、50 点、25 点、0 点まで与え、加重平均を算出する。なお、「無回答」のサンプルは集計対象から除外している。

年齢別もしくは地域別に限定した順位及び得点を比較することで、年齢別・地域別の特徴を把握する。なお、年齢別では子育てや就労に関する若い人の傾向を見るために、ここでは 40 歳未満と 40 歳以上に分けて比較する。

また、少子高齢化に関する施策に対して、対象となる子育て世帯、高齢者がいる世帯の傾向を知るために、世帯内高校生以下子ども有無別、世帯内高齢者（65 歳以上）有無別、年齢（60 歳未満と 60 歳以上）別に限定して満足度得点を比較する。

■満足度

- ・満足度得点は全 41 施策のうち、50.0 点以上のプラス評価のものが 30 施策、マイナス評価のものが 11 施策となっている。得点は最高 64.7 点から最低 38.1 点の広い範囲（得点差 26.6 点）に分布しており、全施策の平均得点は 52.4 点である。
- ・満足度の高い施策は、上位から、上水道の安定供給（64.7 点）、斎場・墓地の適正管理（63.6 点）、消防・救急体制の充実（63.2 点）、廃棄物対策の推進（61.6 点）、保健の推進（61.4 点）の順である。



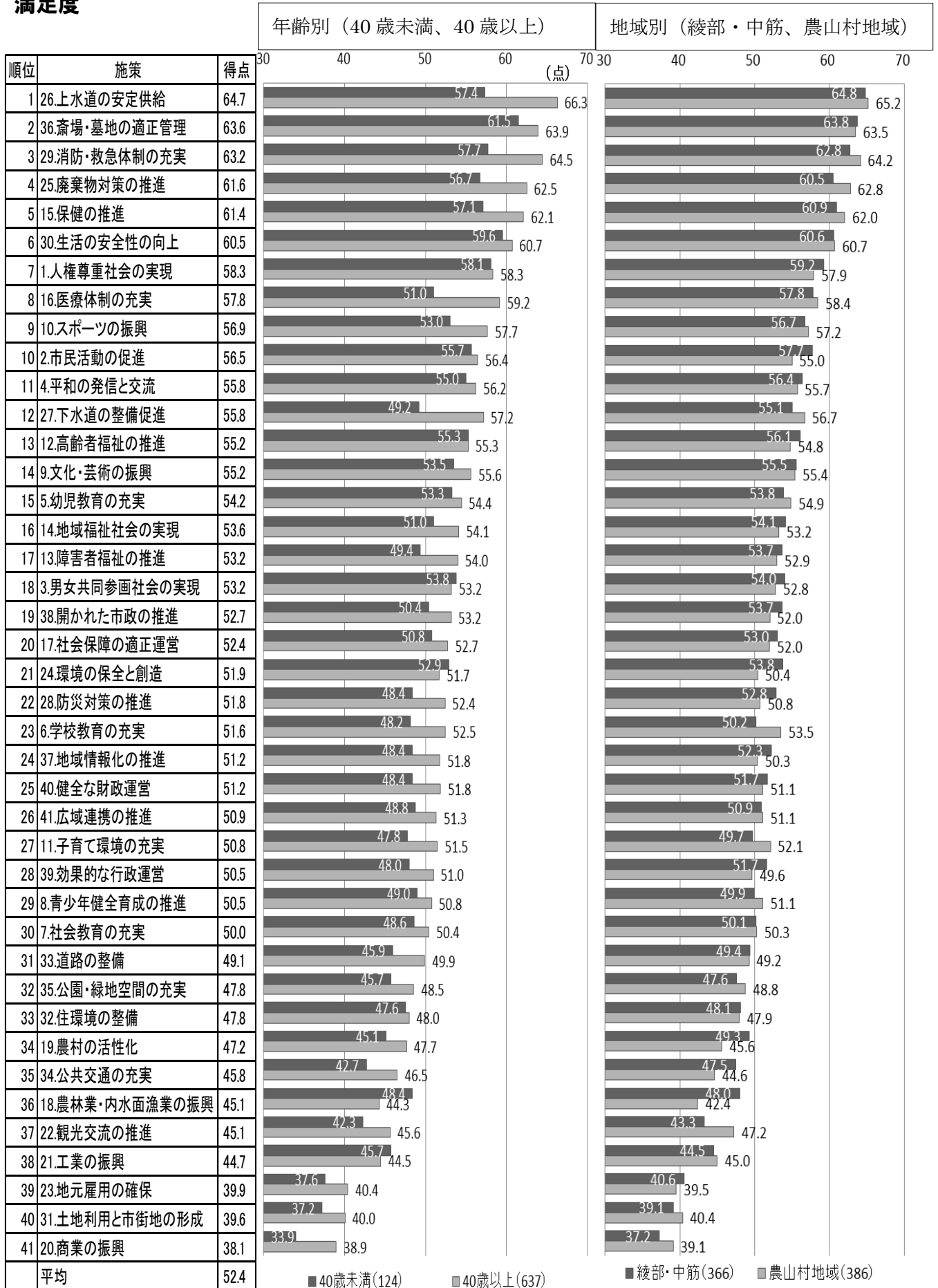
満足度の高い施策は医療、廃棄物対策等多岐にわたるが、満足度の低い施策は産業振興やまちのにぎわいに関する分野で多く見られる。

- ・**年齢別**では、40 歳未満で「斎場・墓地の適正管理」が 61.5 点と最も多く、次いで「生活の安全性の向上」が 59.6 点、「人権尊重社会の実現」が 58.1 点である。
- ・40 歳以上では上位から「上水道の安定供給」66.3 点、「消防・救急体制の充実」64.5 点、「斎場・墓地の適正管理」63.9 点の順である。また、最も低いものはどちらも「商業の振興」であり、40 歳未満では 33.9 点、40 歳以上では 38.9 点である。年齢別の満足度に差が見られるのは、40 歳未満の「農林業・内水面漁業の振興」「工業の振興」「環境の保全と創造」、40 歳以上の「上水道の安定供給」「医療体制の充実」「下水道の整備促進」「消防・救急体制の充実」である。
- ・**地域別**では、順位の大きな違いは見られないが、地域別の満足度に差が見られるのは、綾部・中筋の「農林業・内水面漁業の振興」「農村の活性化」「環境の保全と創造」「公共交通の充実」、農山村地域の「観光交流の推進」「学校教育の充実」である。



40 歳以上の世代で満足度が高い傾向にある。全市平均より、40 歳未満の世代で農業、漁業、工業など産業の振興に関する評価が高く、40 歳以上の世代では上下水道や医療、消防など生活面に関する評価が高い傾向にある。また地域別では綾部・中筋で「観光交流の推進」「学校教育の充実」「子育て環境の充実」の満足度が低い傾向が見られる。

満足度



■重要度

- ・重要度得点は、全 41 施策の全てが 50.0 点以上であり、すべての施策が重要であると評価されている。このうち、75.0 点以上の評価のものが 28 施策となっている。得点は最高 87.9 点から最低の 65.9 点の範囲（得点差 22 点）に分布している。
- ・重要度の高い施策は、上位から、医療体制の充実（87.9 点）、防災対策の推進（87.5 点）、消防・救急体制の充実（85.2 点）、地元雇用の確保（84.8 点）、生活の安全性の向上（84.2 点）である。



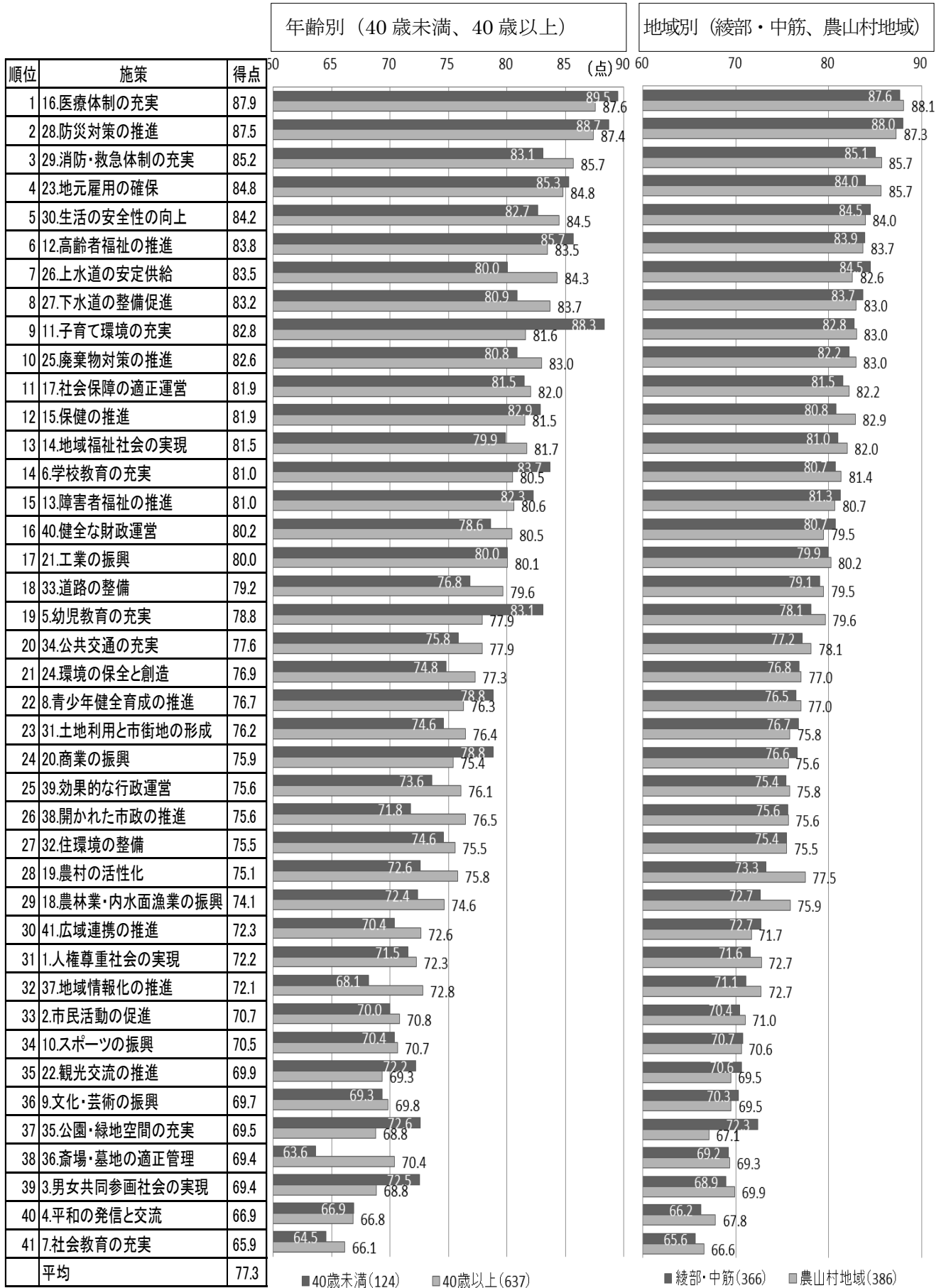
医療、防災、救急といった安全・安心に関わる生活に密着度の高い施策が重要視されているが、地元雇用の確保といった定住に関わる項目も重要度が高い。

- ・**年齢別**では、年齢に関わらず「医療体制の充実」が最も重要度が高く、次いで「防災対策の推進」という順である。
- ・40 歳未満では、上位 2 項目は同じであり、これに次いで「子育て環境の充実」88.3 点、「高齢者福祉の推進」85.7 点、「地元雇用の確保」85.3 点の順で重要度が高い。
- ・40 歳以上においても、上位 2 項目は同じであり、これに次いで「消防・救急体制の充実」85.7 点、「地元雇用の確保」84.8 点、「生活の安全性の向上」84.5 点の順である。
- ・全市平均と比較すると、40 歳未満で「子育て環境の充実」「幼児教育の充実」「男女共同参画社会の実現」「公園・緑地空間の充実」の重要度が全市より 3.0 点以上高い。
- ・**地域別**では、重要度に大きな順位の違いは見られないが、全市平均と比較すると、綾部・中筋で「公園・緑地空間の充実」、農山村地域の「農村の活性化」「農林業・内水面漁業の振興」は全市より重要度が 1.5 点以上高い。



40 歳未満の世代で子育てに関する重要度の評価が高い傾向にあり、また地域別では、農山村地域で、農村や農林業に関する重要度が高い。

重要度

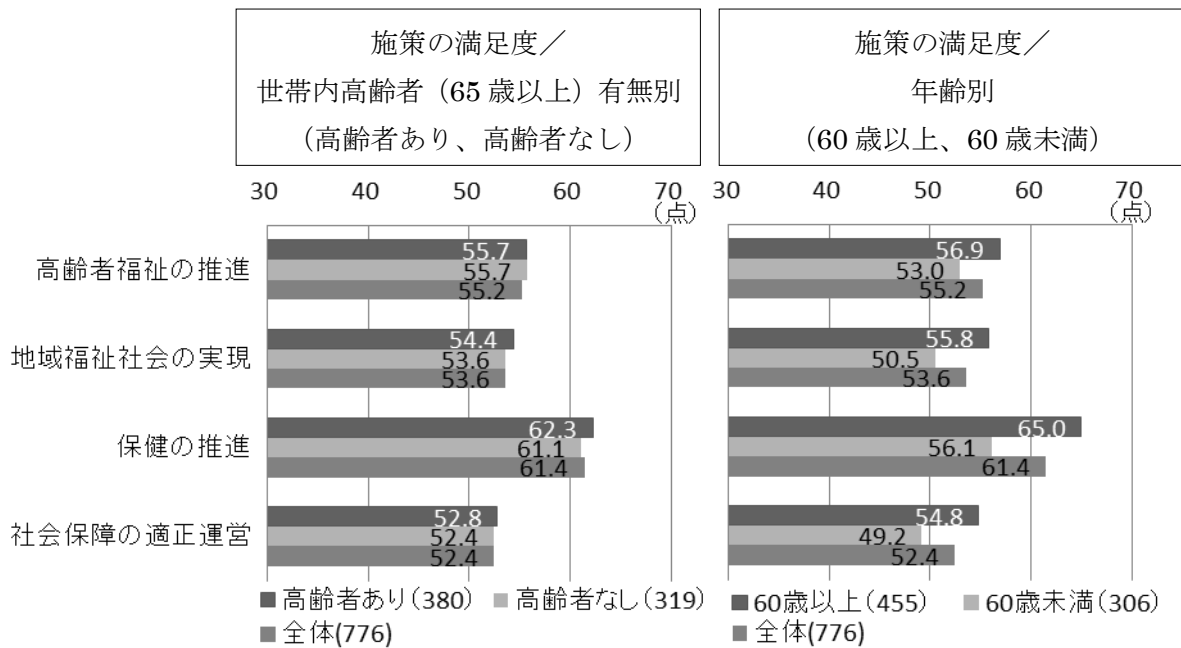


■少子高齢化施策

- ・少子高齢化に関する施策の中で、少子化に関する主な施策を「幼児教育の充実」「青少年健全育成の推進」「子育て環境の充実」「保健の推進」、高齢化に関する主な施策を「高齢者福祉の推進」「地域福祉社会の実現」「保健の推進」「社会保障の適正運営」として満足度を分析する。

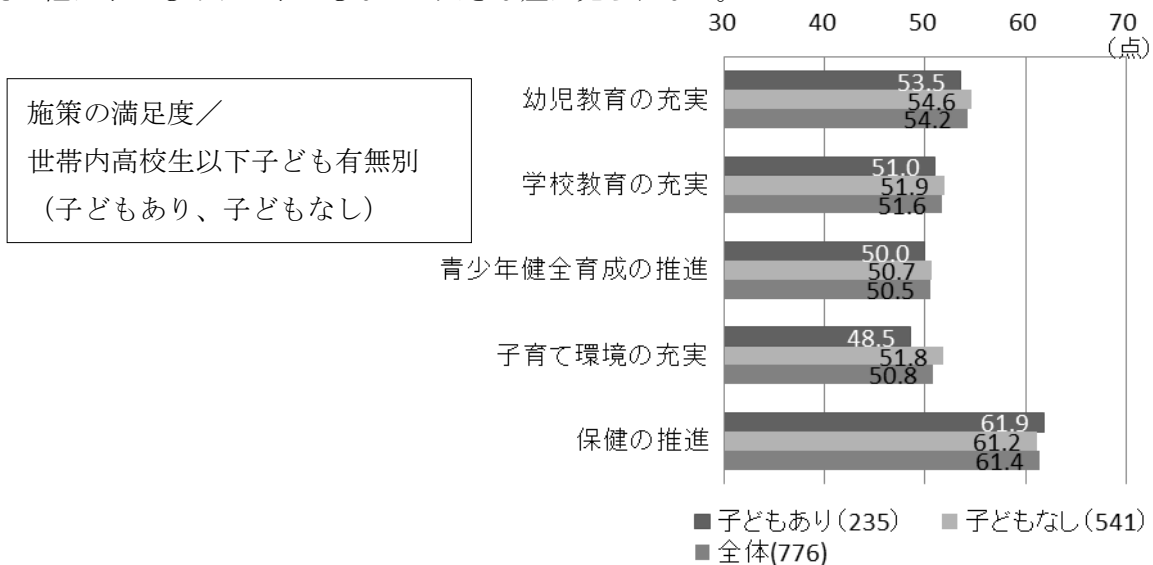
高齢化に関する施策の満足度

- ・世帯内高齢者（65歳以上）有無別では、高齢者ありと高齢者なしで大きな差は見られない。
- ・年齢（60歳以上、60歳未満）別では、全4施策で60歳以上が60歳未満より満足度得点が高く、なかでも「保健の推進」は8.9点高くなっている。



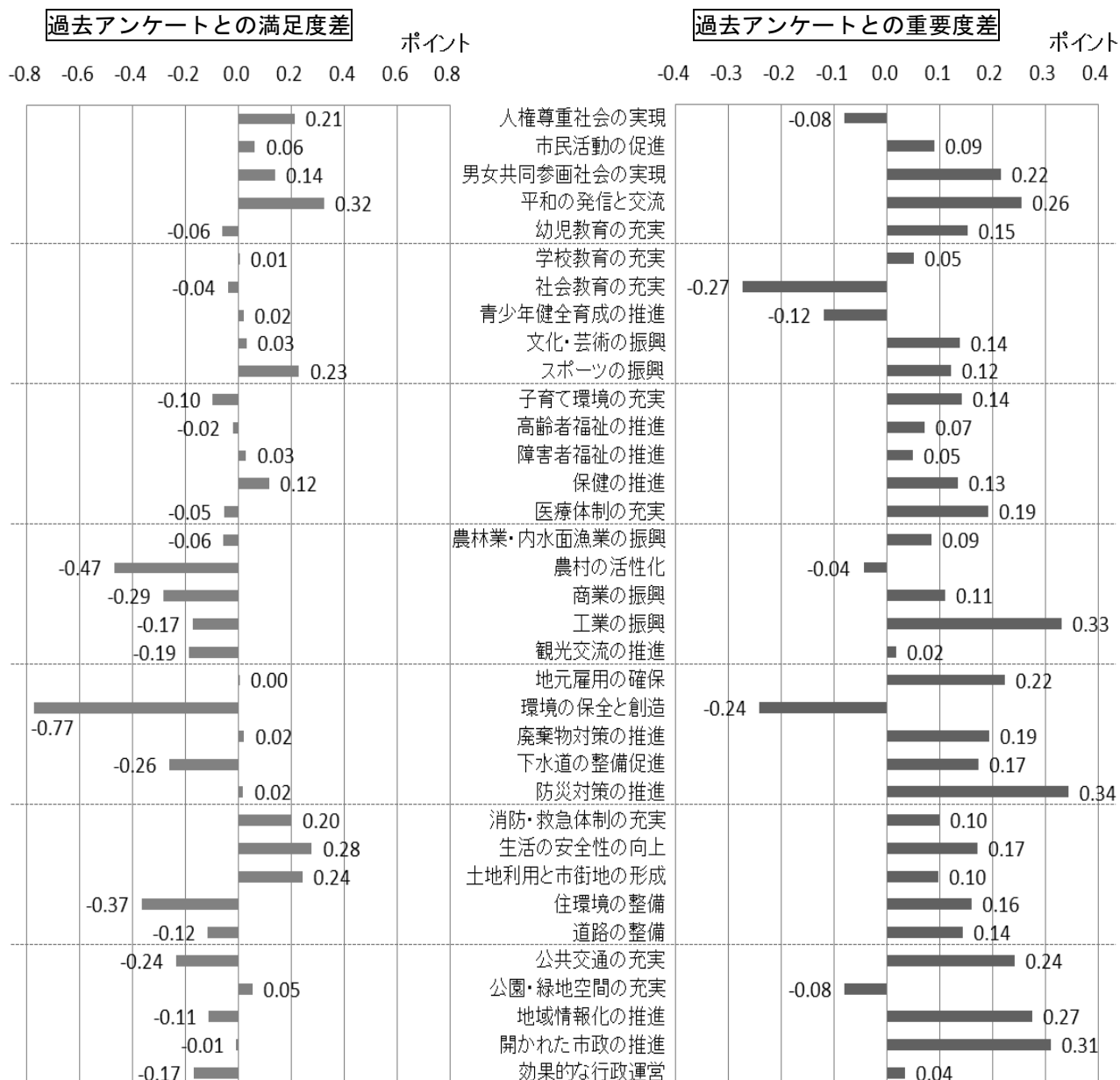
少子化に関する施策の満足度

- ・世帯内高校生以下子ども有無別では、「子育て環境の充実」で子どもありが3.3点低くなっているが、その他は子どもありと子どもなしで大きな差は見られない。



過去のアンケート調査結果との比較分析

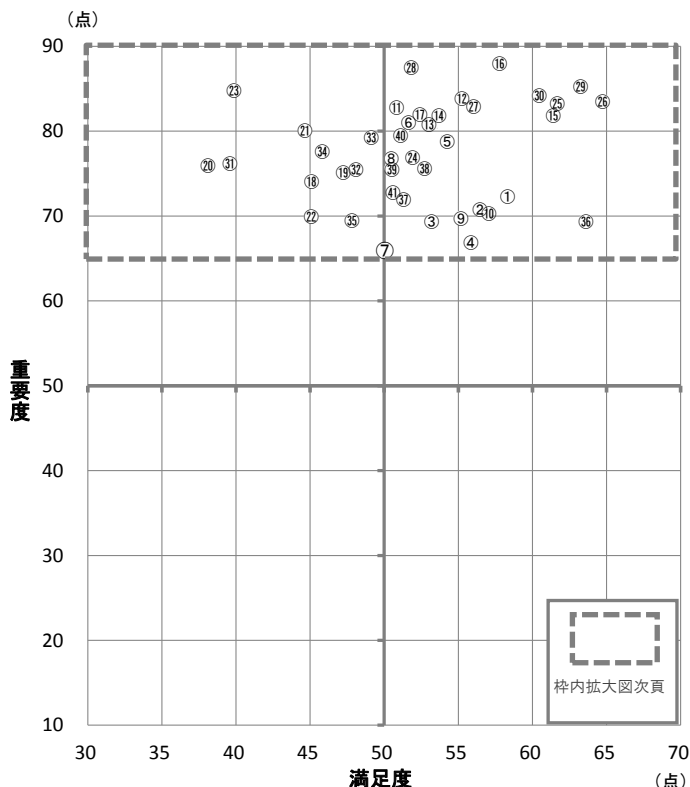
- ・第5次総合計画前期基本計画策定時のアンケート調査のうち、満足度・必要度項目について、今回のアンケート調査項目と類似した項目ごとに振り分け、今回の得点から前回の得点の差を算出し、グラフ化した。
- ・なお、類似項目として明らかに該当しないものについては除外している。また、前回アンケートの加重平均は1～5ポイントを与えて算出されているため、ここでの比較では、今回アンケートの加重平均も前回と同様の条件で算出している。
- ・満足度の得点の変化についてみると、「平和の発信と交流」が0.32ポイント、「生活の安全性の向上」が0.28ポイントと大きく増加しているのに対し、「環境の保全と創造」が-0.77ポイント、「農村の活性化」が-0.47ポイントと、大きく減少している。
- ・重要度の得点の変化についてみると、「防災対策の推進」が0.34ポイント、「工業の振興」が0.33ポイントと大きく増加している一方で、「社会教育の充実」が-0.27ポイント、「環境の保全と創造」が-0.24ポイントと大きく減少している。



市民の満足度と重要度の関係分析

- ・グラフの縦軸に重要度得点、横軸に満足度得点を取り、41 施策をプロットし、施策の満足度と重要度について、中間点（50 点 普通）を境にどのように分布しているかを以下に示した。
- ・重要度については、全ての施策が 50 点（普通）を大幅に超えており、平均値が 77.3 点であることから、市民はすべての施策を重要と判断している。
- ・満足度については、平均値が 52.4 点であり、50 点（普通）に満たない施策が 11 施策である。

施策の重要度×満足度グラフ

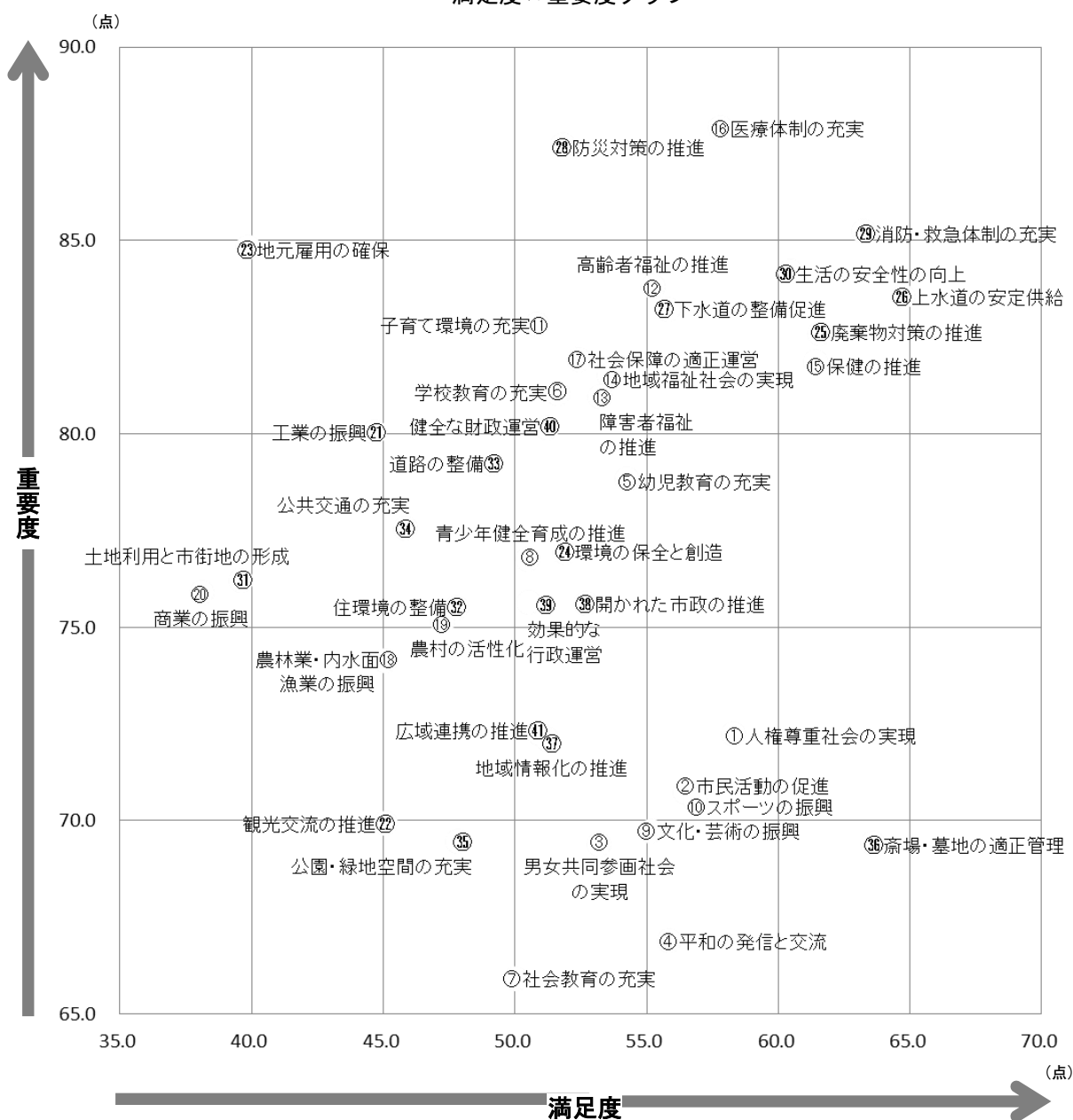


	番号	施策	満足度 加重平均	重要度 加重平均	
築市 く民が まち輝 きと ともに	①	人権尊重社会の実現	58.3	72.2	
	②	市民活動の促進	56.5	70.7	
	③	男女共同参画社会の実現	53.2	69.4	
	④	平和の発信と交流	55.8	66.9	
育心 む豊 まちな な人と つくり 文化を	⑤	幼児教育の充実	54.2	78.8	
	⑥	学校教育の充実	51.6	81.0	
	⑦	社会教育の充実	50.0	65.9	
	⑧	青少年健全育成の推進	50.5	76.7	
	⑨	文化・芸術の振興	55.2	69.7	
	⑩	スポーツの振興	56.9	70.5	
暮支 らえ せあ るい ま心 づつ くり	⑪	子育て環境の充実	50.8	82.8	
	⑫	高齢者福祉の推進	55.2	83.8	
	⑬	障害者福祉の推進	53.2	81.0	
	⑭	地域福祉社会の実現	53.6	81.5	
	⑮	保健の推進	61.4	81.9	
	⑯	医療体制の充実	57.8	87.9	
	⑰	社会保障の適正運営	52.4	81.9	
生豊 みか さと すま ちづ つくり	⑱	農林業・内水面漁業の振興	45.1	74.1	
	⑲	農村の活性化	47.2	75.1	
	⑳	商業の振興	38.1	75.9	
	㉑	工業の振興	44.7	80.0	
	㉒	観光交流の推進	45.1	69.9	
	㉓	地元雇用の確保	39.9	84.8	
ま自然 ち豊 つくり かで 安全な	㉔	環境の保全と創造	51.9	76.9	
	㉕	廃棄物対策の推進	61.6	82.6	
	㉖	上水道の安定供給	64.7	83.5	
	㉗	下水道の整備促進	55.8	83.2	
	㉘	防災対策の推進	51.8	87.5	
	㉙	消防・救急体制の充実	63.2	85.2	
	㉚	生活の安全性の向上	60.5	84.2	
ま快 ち適 づく 誰も が住 みよ い	㉛	土地利用と市街地の形成	39.6	76.2	
	㉜	住環境の整備	47.8	75.5	
	㉝	道路の整備	49.1	79.2	
	㉞	公共交通の充実	45.8	77.6	
	㉟	公園・緑地空間の充実	47.8	69.5	
	㊱	斎場・墓地の適正管理	63.6	69.4	
の計 た画 め推 進	㊲	地域情報化の推進	51.2	72.1	
	㊳	開かれた市政の推進	52.7	75.6	
	㊴	効果的な行政運営	50.5	75.6	
	㊵	健全な財政運営	51.2	80.2	
		㊶	広域連携の推進	50.9	72.3
		平均	52.4	77.3	

※満足度の網掛け部分は平均以下、重要度の網掛け部分は平均以上を表す。

- ・ 41 施策の重要度と満足度について、各施策の加重平均がどのように分布しているかを示した。
- ・ 満足度が低くかつ重要度が高いものは 8 施策あり、「地元雇用の確保」「防災対策の推進」「工業の振興」「子育て環境の充実」等が挙げられる。
- ・ 満足度も重要度も高いものは 12 施策あり、「医療体制の充実」、「消防・救急体制の充実」「生活の安全性の向上」「高齢者福祉の推進」等が挙げられる。
- ・ 満足度も重要度も低いものは 13 施策あり、「観光交流の推進」「商業の振興」等が挙げられる。
- ・ 満足度は高いが重要度が低いものは 8 施策あり、「斎場・墓地の適性管理」「平和の発信と交流」等が挙げられる。

満足度×重要度グラフ

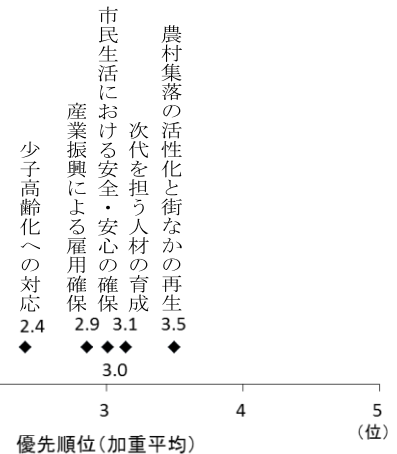
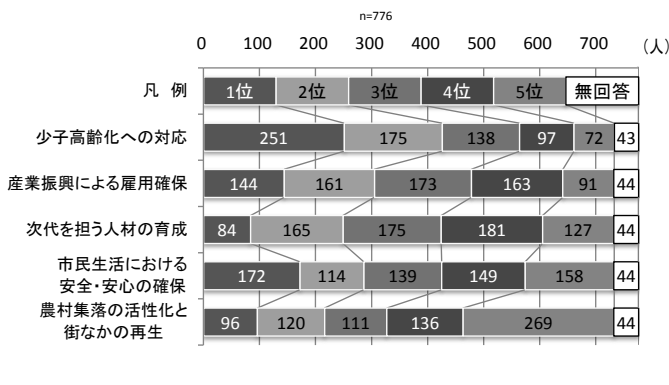


【問2】重点課題の優先順位

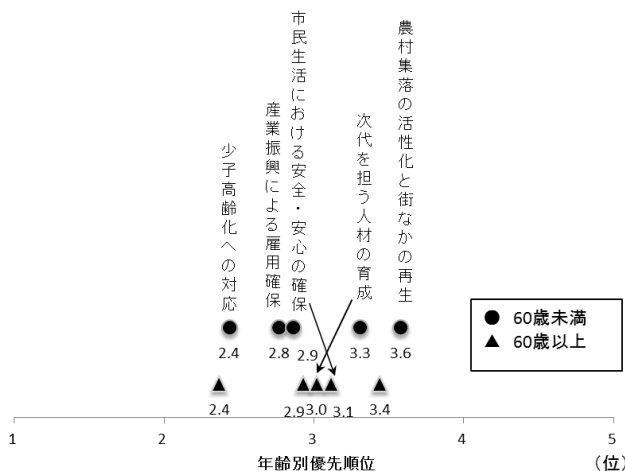
綾部市が「住んでよかった...ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を目指して取り組んでいる以下の重点課題について、あなたにとっての優先順位を、1位～5位の番号でご記入ください。また、後期計画でこれ以外に新たに取り組む重点課題があればその他にご記入ください。

- ①優先順位の加重平均より、「少子高齢化への対応」が他の重点課題と比べ突出して高く、次いで「産業振興による雇用確保」「市民生活における安全・安心の確保」「次代を担う人材の育成」「農村集落の活性化と街なかの再生」という順位になる。
- ②年齢別では、どちらも、「少子高齢化への対応」が最も高く、次いで「産業振興による雇用確保」となっている。60歳以上では、「次代を担う人材の育成」の順位が3.0位に上がり、「市民生活における安全・安心の確保」が3.1位に下がるため、順位がやや変動する。
- ③地域別では、綾部・中筋で「産業振興による雇用確保」と「市民生活における安全・安心の確保」が同順位に並ぶ。また、「農村集落の活性化と街なかの再生」の順位が3.7位に下がる。
- ④「その他」としては、65件の記述があり、選択肢の項目内容をより充実する形の意見が多く、子育て支援の充実や、高齢者福祉の充実など少子高齢化や教育に関する意見が多い。また、市民にとって魅力を感じる商業施設の充実や、防災対策等が多く挙げられている。他の課題としては人権問題への対応などが挙げられている。

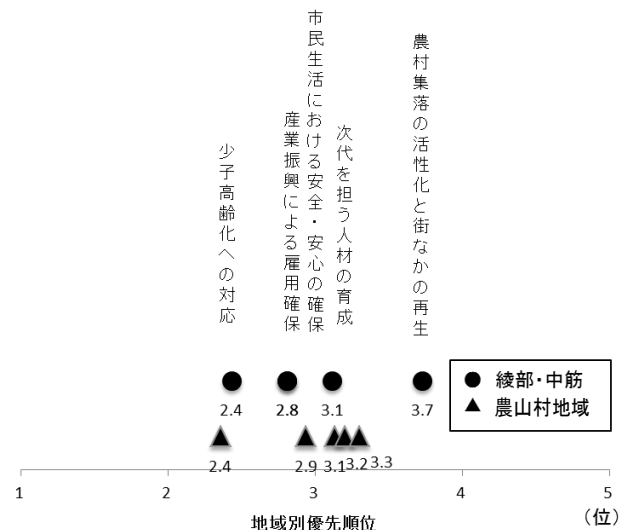
①重点課題の優先順位と加重平均



②重点課題の優先順位／
年齢別（60歳未満、60歳以上）



③重点課題の優先順位／
地域別（綾部・中筋、農山村地域）



2.3 まちづくりへの参加についておたずねします。

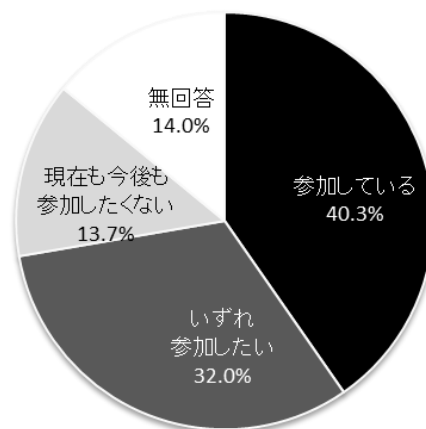
【問1】まちづくりへの参加の状況

あなたは、まちづくりに参加していますか。該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

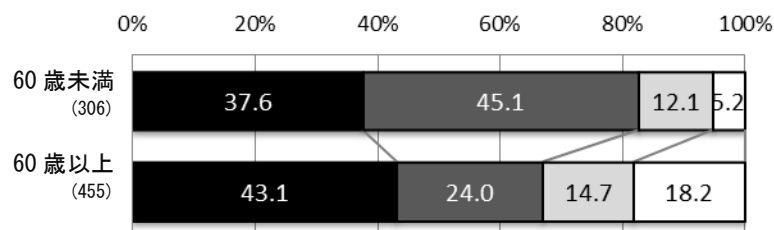
- ①「参加している」が40.3%と最も多く、次いで「いずれ参加したい」が32.0%とまちづくりへの参加意欲が7割強を示す。
- ②年齢別では、60歳未満は「いずれ参加したい」が45.1%と最も高く、次いで「参加している」が37.6%であり、合わせると8割以上に参加意欲がある。
- ③地域別では、農山村地域で「参加している」が47.7%と約5割が現在まちづくりに参加をしており、高い参加率になっている。

①まちづくりへの参加の状況

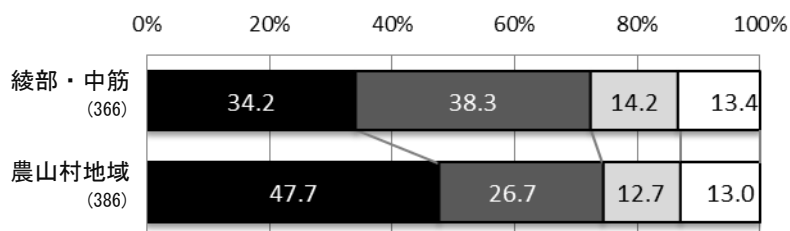
n=776



②まちづくりへの参加の状況／年齢別
(60歳未満、60歳以上)



③まちづくりへの参加の状況／地域別
(綾部・中筋、農山村地域)



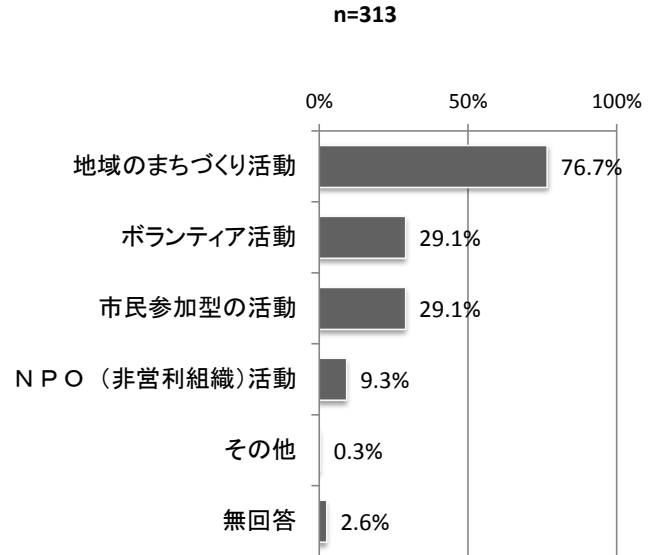
■ 参加している ■ いずれ参加したい
□ 現在も今後も参加したくない □ 無回答

【問2】まちづくり活動の内容

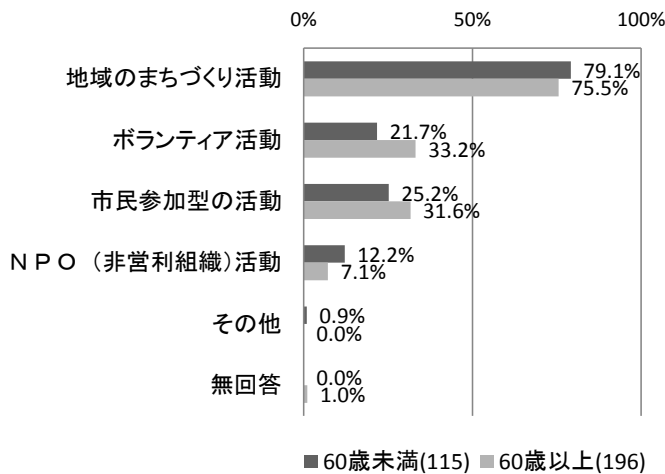
あなたが参加しているのはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ①「地域のまちづくり活動」が 76.7%と最も多く、次いで「ボランティア活動」と「市民参加型の活動」が 29.1%である。
- ②年齢別では、どの年齢でも「地域のまちづくり活動」が最も多く、次いで 60 歳未満では「市民参加型の活動」が 25.2%であり、60 歳以上では「ボランティア活動」が 33.2%であり、順位に違いがある。
- ③地域別では、農山村地域で「地域のまちづくり活動」を 8 割以上の人々が挙げている。
- ④「その他」としては、6 件の記述があり、地域の憩いの場づくりや、社会体育の実施、神社の護持運営などが挙げられている。

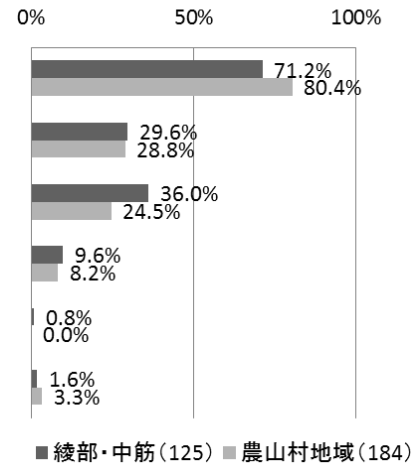
①参加しているまちづくり活動 (MA)



②参加しているまちづくり活動／
年齢別 (60 歳未満、60 歳以上)
(MA)



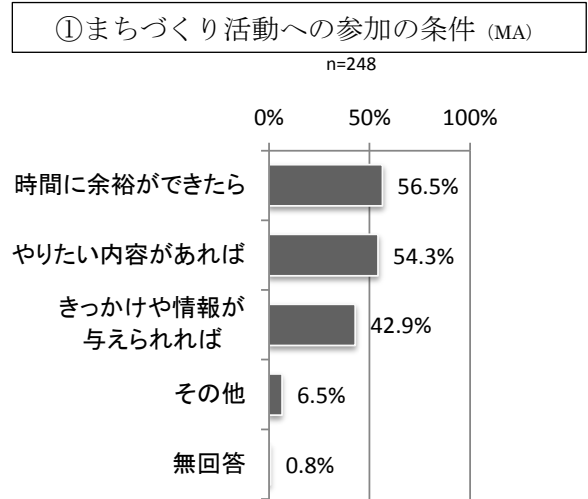
③参加しているまちづくり活動／
地域別 (綾部・中筋、農山村地域)
(MA)



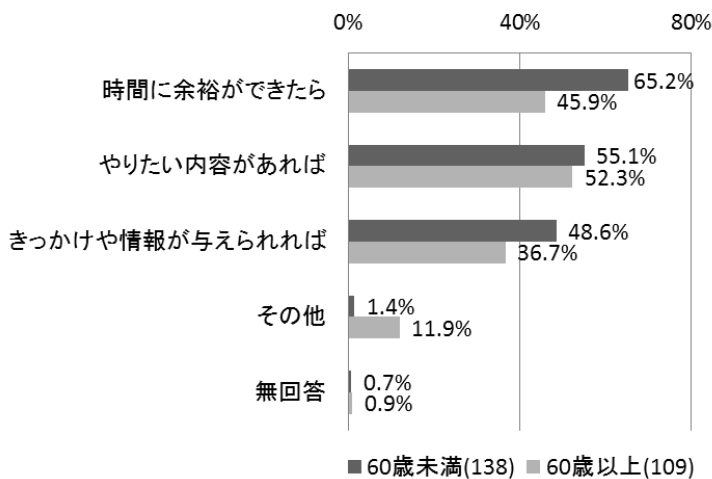
【問3】まちづくりへの参加の条件

どのような条件を整えば、まちづくりに参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

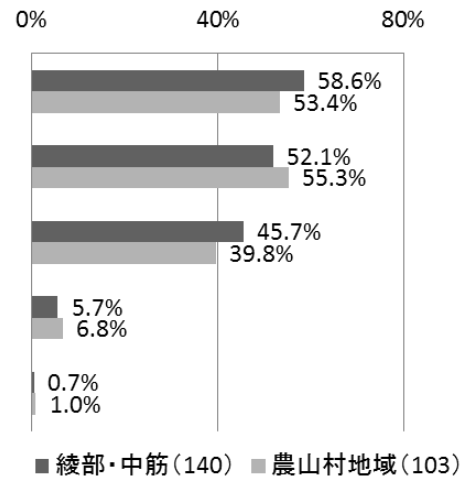
- ①まちづくりへの参加条件として、「時間に余裕ができたら」が56.5%、次いで「やりたい内容があれば」が54.3%となっている。
- ②年齢別では、60歳未満では「時間に余裕ができたら」が6割強で、次いで「やりたい内容があれば」が5割強となっているが、60歳以上では「やりたい内容があれば」が5割強で最も多くなっている。
- ③地域別では、大差はないものの、農山村地域で「やりたい内容があれば」が若干多くなっている。
- ④「その他」としては、22件の記述があり、高齢や身体的理由により、参加したくても出来ないという意見が多く挙げられている。



②まちづくり活動への参加の条件/年齢別 (60歳未満、60歳以上) (MA)



③まちづくり活動への参加の条件/地域別 (綾部・中筋、農山村地域) (MA)



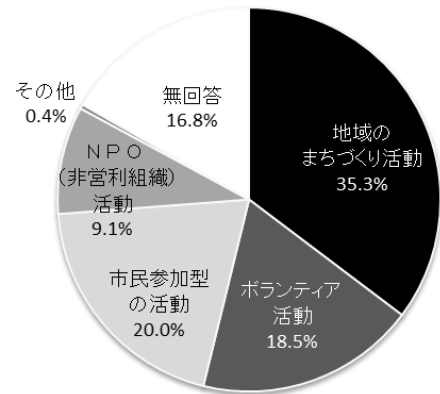
【問4】 今後参加したいまちづくり活動

問1で「1.参加している」「2.いずれ参加したい」を選んだ方に伺います。今後は、どのような活動に参加したいですか。該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

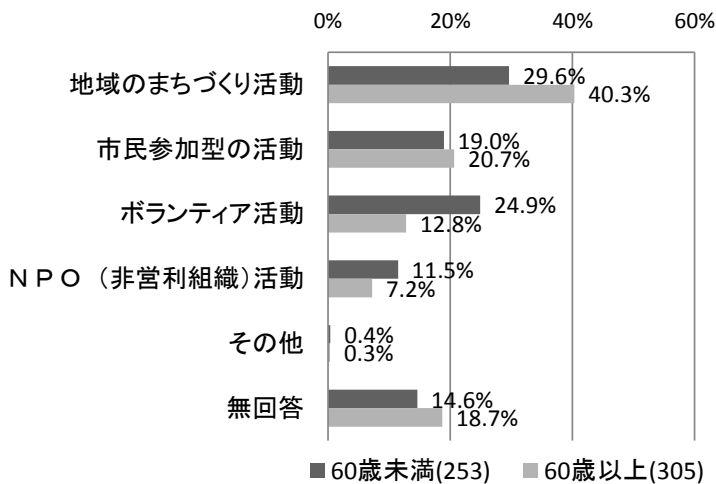
- ①「地域のまちづくり活動」が35.3%と最も多く、次いで「市民参加型の活動」が20.0%、「ボランティア活動」が18.5%である。
- ②年齢別では、どちらも「地域のまちづくり活動」が最も多く、次いで60歳未満は「ボランティア活動」が24.9%であり、60歳以上で「市民参加型の活動」が20.7%である。
- ③地域別では、農山村地域で「地域のまちづくり活動」を4割以上の方が挙げている。
- ④「その他」としては、6件の記述があり、主に項目内容を具体化した意見であり、災害ボランティア活動や農耕放棄地の再生のための活動などが挙げられている。

①これから参加したいまちづくり活動

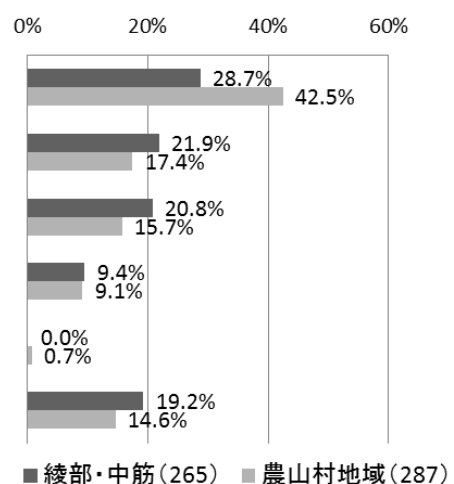
n=561



②これから参加したいまちづくり活動／年齢別 (60歳未満、60歳以上)



③これから参加したいまちづくり活動／地域別 (綾部・中筋、農山村地域)



2.4 綾部市に「住んでよかった」と感じる時についておたずねします。

【問1】 綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」

この質問は、日頃綾部市に住んでいてよかったと感じることを、今後の市のPR等で活用するための設問です。市民の皆様が、綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」について、選択肢から、「感じたことがある」ものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

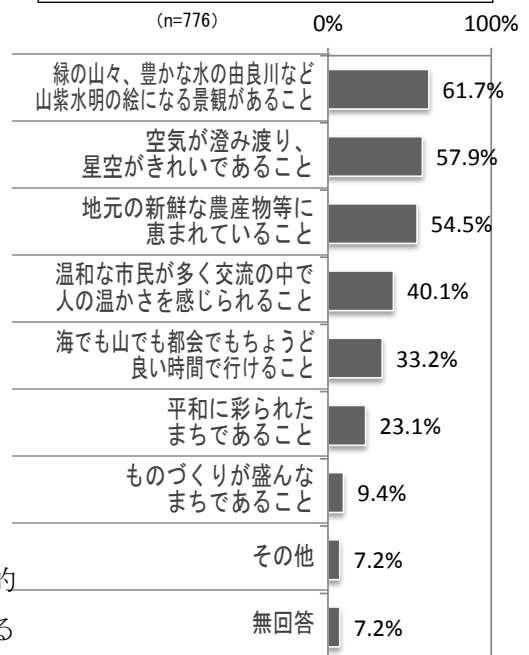
①「緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること」が61.7%を示し、次いで「空気が澄み渡り、星空がきれいであること」が57.9%である。

②年齢別では、60歳未満で「空気が澄み渡り、星空がきれいであること」が61.8%と最も多く、次いで「緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること」が57.8%である。60歳以上で「緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること」が65.7%と最も多く、次いで「地元の新鮮な農産物等に恵まれていること」が59.3%である。

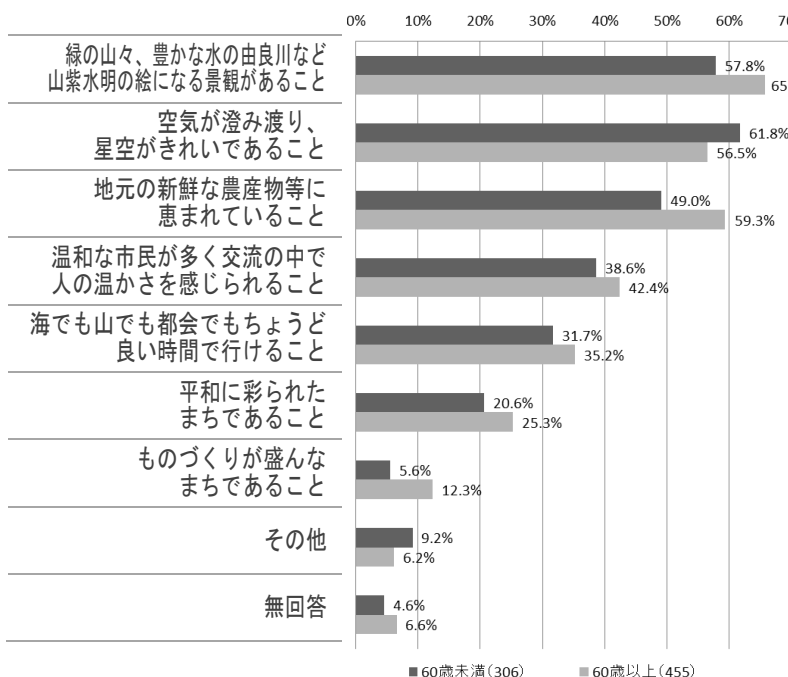
③地域別では農山村地域で、「空気が澄み渡り、星空がきれいであること」が61.4%と最も多く、次いで「緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること」が60.6%である。

④「その他」としては、66件の記述があり、選択肢の具体的な内容の記述以外では、災害がないことや、静かなまちであること、地元への親しみがあること、ゴミの分別が簡単であることなどが挙げられる。

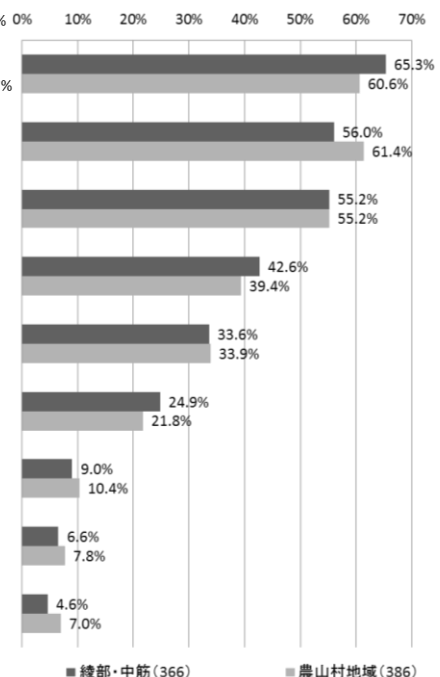
①綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」(MA)



②綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」／年齢別(60歳未満、60歳以上)(MA)



③綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」／地域別(綾部・中筋、農山村地域)(MA)

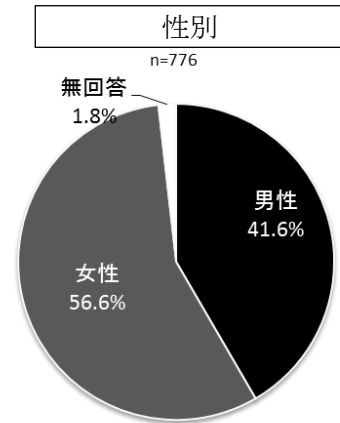


2.5 あなたご自身のことについておたずねします。

各項目のあてはまるものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

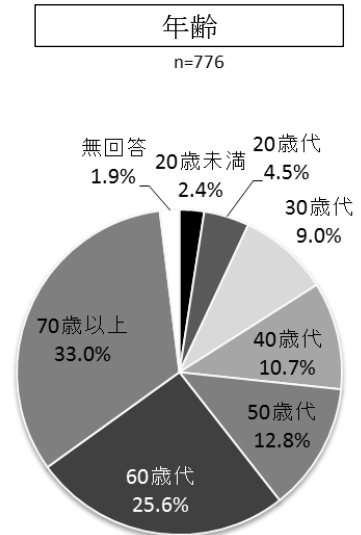
【問1】あなたの性別

- 性別は、「女性」が56.6%、「男性」が41.6%で女性が過半数を占めている。

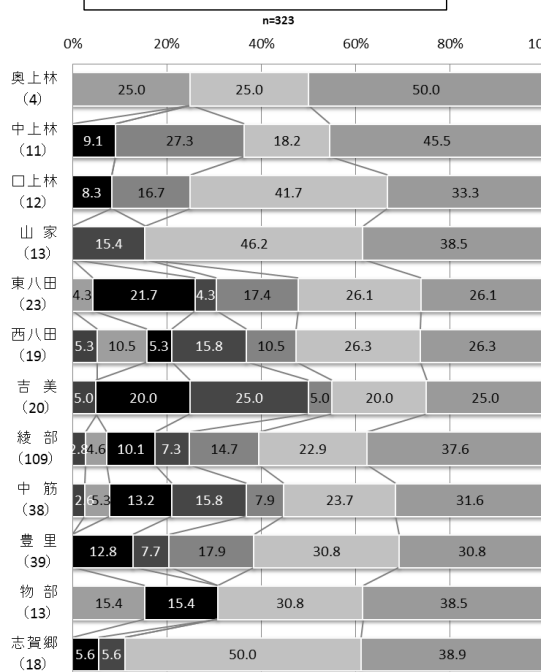


【問2】あなたの年齢

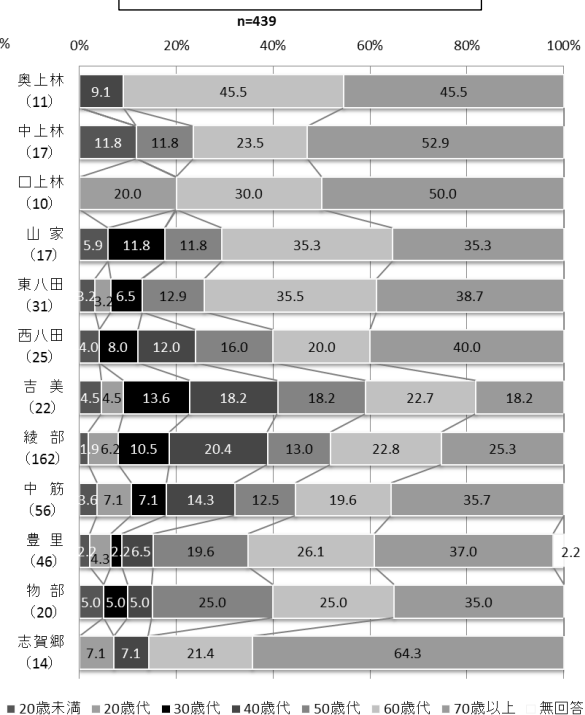
- 年齢は、「70歳以上」が33.0%で最も多く、次いで、「60歳代」が25.6%であり、60歳以上が約6割を占めている。一方、「20歳未満」は2.4%、「20歳代」は4.5%と低い割合になっている。
- 地域別では、男女ともに60歳未満が50%台の地区は、吉美のみであった。60歳未満男性の割合が40%台の地区は、東八田、西八田、中筋であるのに対し、60歳未満女性の割合が40%台の地区は、西八田、綾部、中筋、物部である。



地域別性別年齢別（男）



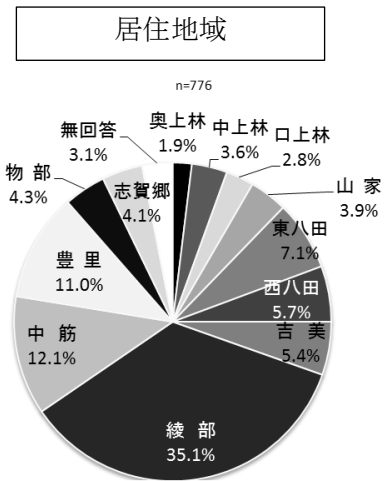
地域別性別年齢別（女）



■20歳未満 ■20歳代 ■30歳代 ■40歳代 ■50歳代 ■60歳代 ■70歳以上 □無回答

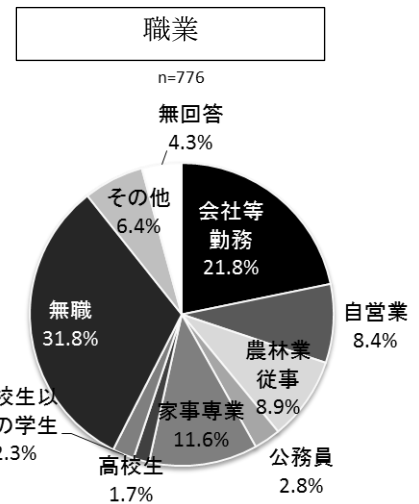
【問3】あなたが現在住んでおられる地域

- ・居住地は、「綾部」が 35.1%と最も多く、次いで「中筋」が 12.1%であり、合わせると約 5 割を占めている。一方、「奥上林」が 1.9%で最も少なく、次いで「口上林」が 2.8%、「中上林」が 3.6%、「山家」が 3.9%である。



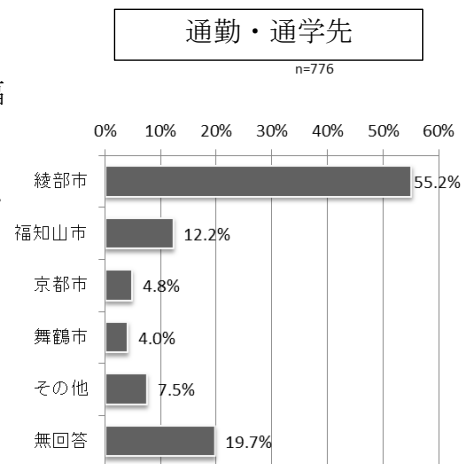
【問4】あなたの職業

- ・回答者の職業は、「無職」が 31.8%と最も多く、次いで「会社等勤務」が 21.8%、「家事専業」が 11.6%、「農林業従事」が 8.9%である。
- ・「その他」としては、41 件の記述があり、パート・アルバイトが多く、保育士、福祉・介護関係、宗教法人役員や経営者が挙げられている。



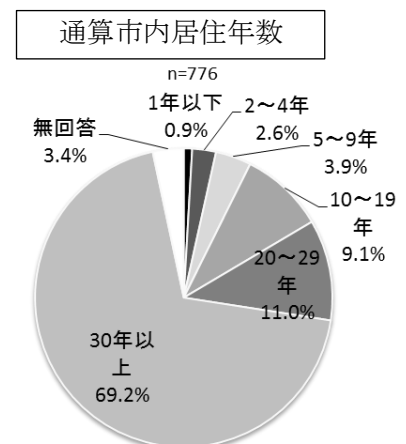
【問5】あなたの就学地・就業地

- ・通勤・通学先は「綾部市」が 55.2%と最も多く、次いで「福知山市」が 12.2%である。
- ・「その他」としては、38 件の記述があり、大阪府、京都府、兵庫県、京丹後市などが多い。



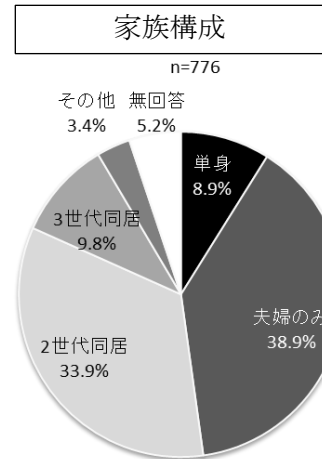
【問6】あなたが綾部市民である期間（通算）

- ・居住年数は「30年以上」が 69.2%と最も多く、次いで「20～29年」が 11.0%であり、回答者の 8 割が 20 年以上綾部市に居住している。



【問7】あなたの家族構成

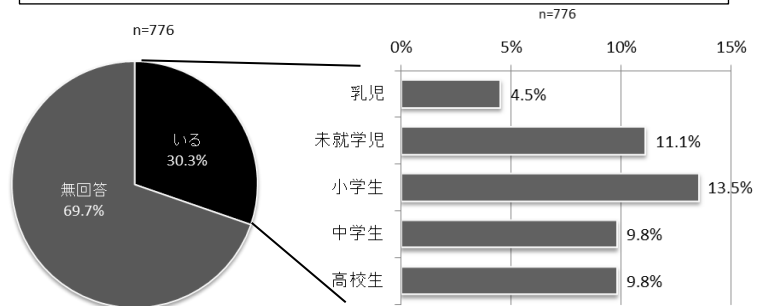
- ・家族構成は、「夫婦のみ」が 38.9%と最も多く、次いで「2世代同居」が 33.9%、「3世代同居」が 9.8%であり、家族構成数 2人以上の世帯が、8割以上である。
- ・「その他」としては、7件記述があり、4世帯同居や祖父母と同居などが挙げられている。



【問8】あなた以外の家族に高校生以下の子どもがいる場合はすべて選んで○をしてください。

- ・高校生以下の子供がいる世帯は 30.3%となっている。
- ・世帯内の子どもは、「小学生」が 13.5%と最も多く、次いで「未就学児」が 11.1%、「中学生」「高校生」がともに 9.8%、「乳児」が 4.5%である。

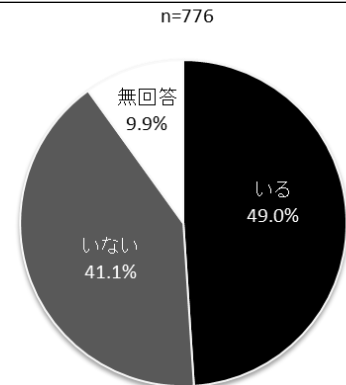
世帯内の高校生以下の子どもの有無と内訳 (MA)



【問9】あなた以外の家族に高齢者（65歳以上）はいますか。

- ・家族に高齢者が「いる」が 49.0%、「いない」が 41.1%であり、高齢者がいる回答者が約 5割となっている。

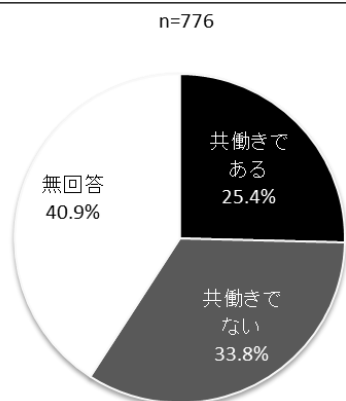
世帯内の高齢者有無 (65歳以上)



【問10】あなたは共働きですか。(結婚されている方はお答えください)

- ・「共働きでない」が 33.8%、「共働きである」が 25.4%である。

共働きの状況



2.6 自由意見

綾部市政について、ご意見・ご提案などがあればご記入ください。

- ・綾部市政に関するご意見・ご提案の自由記述は231人から回答があった。
- ・主な内容は以下のとおり。

【農林水産業・商業・観光について】57件

- ・田舎過ぎて不便で、買い物へ行くのも福知山に行ってしまう。もう少し店が増えるとよい。
- ・大型商業施設の誘致を行い、便利な町、人が集まる町にしてほしい。
- ・若者の考えを取り入れ、若者の集まるような行事をしなければ廃れていく一方だと思う。
- ・地元の新鮮な農産物が意外と少なくあまり手に入らない。綺麗な自然があるので農畜産物に力を入れて活性化させたほうがよい。
- ・もっと綾部市の特産品をPRしてほしい。
- ・知り合いが来ても案内するところがわからない。観光・食事処マップなど詳しいものがあるとよい。
- ・農産物の動物による被害が多発し、ひいては山の荒廃に繋がると思う。山紫水明などとは程遠く荒廃した風景が広がり始めている。動物への根本対策を。
- ・「元気な綾部」「山を利用・活用する綾部」を目指そう。
- ・工業のまちも大事だが、もっと商業化すれば人が多く集まるのではないか。

【行政について】49件

- ・綾部市で市会議員の定数を見直してほしい。市民の数の割に議員数が多すぎる。
- ・市民の意見・意向が反映される市政になってほしい。
- ・議会の報告をわかりやすく市民に伝えてほしい。議員にわかっても一般市民にわからないことが多い。
- ・日本全体で減少している今、国内より国外の人を。廃村が出た場合、村全体を一国の人に住まわす。ベトナム村、カンボジア村、東南アジア村、アフリカ村など。同じ国の人を一か所に。チェックは厳しくする必要はあるが同国人でよい意味のチームワークを。
- ・市役所職員は受付でつねにもっと明るく対応してほしい。

【住環境・情報・交通について】42件

- ・子どもが元気いっぱい遊べる、綺麗で広い公園が少ないのもっとほしい。道もバリアフリーにしてほしい。
- ・高齢者が活動しやすい移動手段があまりなく、外に出ることが減っていくので活動しやすく移動しやすい活動場所や集まりを作してほしい。
- ・道路整備は京都縦貫道若狭道等できるので良いと思うが、市内に観光バスが通れる道の整備は必要。特に、173号から大本までのルートは早急に観光ルートとしてやらねばならない。

- ・京都縦貫道（和知以南）は来年に完成し、それとともに市町と連携してJR山陰線（綾部-園部間）の複線化に向けた取り組みを特に強く要望する。この両面が完成すれば綾部が大都会に近い田園都市ということで住みやすくなると思う。
- ・交通機関の不備など買い物が不便。あやバスの本数が非常に少なく京丹後市のバスを見習ってほしい。
- ・昔より近辺の様変わりは素晴らしく、感銘的なもので交通のアクセスも近く自然も豊かで、福知山とは格段の差で、誇りを持っています。今、まさに「住んでよかった綾部を実感しています」。

【医療・福祉・教育・子育てについて】 45 件

- ・幼稚園が年長しかないので専業主婦はとても困る。他県や他市は最低でも2年ある。なぜ綾部はないのですか。幼児園は金銭的に高いので困るため幼稚園が必要。
- ・出産後でなく、妊娠に対しての子どもについての支援に取り組むべき。人口を増やすためには呼ぶ行動だけでなく、産む・育てる環境を整えなくては。特に不妊治療等の治療費関係のさらなる充実。
- ・安心して共働きできるような子育て支援を願う。とくに最近警報発令が多いので困っている。
- ・今後20年ほどの団塊の世代に対応する高齢者施策。さらにその子の世代までの20年ほどの高齢者人口の増減波動に対応できる展望をもった福祉施策に期待している。また、都市部の人口減少にともなう居住余力増大の影響を受けて、地方の人口流出が激しくなることが危惧されるが、それに対応する施策の展開を望んでいる。
- ・高齢者やその介護する家族にもやさしい住みやすい街を望んでいる。年金生活の安定も望む。

【生活インフラについて】 27 件

- ・水道料金が近隣に比べて高すぎる。市の水道料金をぜひ下げてほしい。
- ・下水道の整備が都市整備の基本だと思うが、いまだに整備がされていない地域があるので早く進めてほしい。
- ・綾部市の可燃ごみ焼却炉はその性能が素晴らしい。

【自然環境について】 7 件

- ・豊かな自然を守り続けてほしい。
- ・京都市のように自然と町（人）が上手に共存する町になれば良いと思う。並松の由良川沿いの道を昔みたいに松林にしたら景観が良くなると思う。

【防災・安全について】 20 件

- ・台風等による水害など自然災害が多発している。災害に対する備えの対応の強化を希望する。
- ・防災情報の伝達の工夫をしてほしい。スピーカーから流れていることがあるが、向きが原因なのか、何を言っているのかわからない。
- ・災害時の補修をきめ細かく調査して頂き、できるできないの回答をしてください。

【雇用について】 19 件

- ・高校卒業して都会の大学へ行っても、綾部市へ戻ってきて就職する場があることが綾部市に活気が出る方法の一つになると思う。
- ・綾部市内の会社で働きたいが、福知山に比べ求人が少ないので雇用を増やしてほしい。
- ・都会の人からの田舎への希望を受け入れる体制を進めてほしい。
- ・高齢者(60～70 歳) の就業対策に力をいれてほしい。

【市民活動・人権啓発について】 21 件

- ・楽しく豊かな人生を送るため文化事業にもっと支援を。
- ・綾部市しかできない何か（特色）をだす。元気なお年寄りが共生できる施設。多機能な組織等が活動できるプラザの建設。
- ・昔あった市民運動会のような誰でも参加できる内容で、年に 1～2 回でよいから、町中が元気だとわかる行事ができないか。
- ・消防団活動にもっと力を入れてほしい。田舎になればなるほど後継者がいなくて困っている。

【本アンケートについて】 7 件

- ・今後このアンケートがどのように活かされるのか他の人がどういう意見を持っているのかを知りたいので集計報告を公開してほしい。
- ・質問が多すぎ。しっかり頼みます！
- ・何を企画政策しようとしているのか市民にもっとわかりやすく説明してほしい。

I 市民意識調査 ー参考資料ー

参考資料1：アンケート調査票

参考資料2：4.【問1】綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」その他の意見

“住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部”
を目指したまちづくりに関するアンケート調査協力をお願い
第5次総合計画 後期基本計画 策定に関するアンケート調査

日頃から、市政に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

綾部市では、第5次綾部市総合計画・前期基本計画（計画期間：平成23年度から平成27年度まで）に基づいてまちづくりを進めており、現在は、後期基本計画（平成28年度から5か年）の策定準備に取り掛かっています。

このアンケート調査は、広く市民の皆様のご意見、ご意向をお伺いし、後期基本計画に反映することを目的に実施するものです。綾部市にお住まいの16歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の市民の皆様をお願いしています。

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年8月 綾部市

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 2 ご回答は、黒のボールペン、鉛筆、サインペンなどで、設問ごとの指示により、番号に○印をつけるか、回答欄に直接ご記入ください。
「その他」の場合は（ ）内に具体的にご記入ください。
- 3 調査の結果は全て統計的に処理し、目的以外に利用することはなく、個人に関わる情報が公表されることは一切ございません。
- 4 ご回答いただいたアンケート調査票は、

9月22日（月）

までに同封の返信用の封筒（切手は不要です）に入れて、郵便ポストへご投函ください。



お問い合わせ

綾部市役所 企画財政部 企画政策課
TEL：0773-42-3280
FAX：0773-42-4905
E-Mail：kikakuseisaku@city.ayabe.lg.jp
〒623-8501 綾部市若竹町8番地の1

総合計画って？後期基本計画って？

総合計画は、将来の綾部市の姿を思い描き、様々な分野の課題や可能性を見据えて戦略的に行政や市民が取り組んでいくことを定めた、市の最上位計画です。

第5次総合計画は将来都市像を“住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部”とした平成32年度までの計画で、前期と後期各5年間の具体的な計画（基本計画）を策定して市政を進めます。

第5次綾部市総合計画の
将来都市像と重点課題



1. まちの暮らしやすさやイメージについておたずねします。

綾部市の暮らしやすさやイメージについて、該当するものを1つ選んで（問4、問5は3つまで）番号を○で囲んでください。

【問1】綾部市は暮らしやすいですか。

- 1. 非常に暮らしやすい
- 2. やや暮らしやすい
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや暮らしにくい
- 5. 非常に暮らしにくい



【問2】あなたは、綾部市に「わがまち」といった愛着を感じていますか。

- 1. 愛着を感じている
- 2. どちらかと言えば感じている
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかと言えば感じていない
- 5. 愛着を感じていない

【問3】あなたは、綾部市に住み続けたいと思いますか。

- 1. ずっと住み続けたい → 【問4】へ
- 2. 移転したい → 【問5】へ
- 3. 移転しても将来戻ってきたい → 【問4】【問5】へ
- 4. わからない → 【問6】へ

【問4】問3で「1」と「3」（住み続けたい、移転しても将来戻ってきたい）と答えた方に伺います。

住みたい理由は何ですか。（3つまで）

- 1. 周辺の居住環境がよい
- 2. 自然が豊かである
- 3. 交通の便がよい
- 4. 隣近所との関係がよい
- 5. 長年住み慣れている
- 6. 仕事や商売に便利である
- 7. 日常の買い物が便利である
- 8. 各種施設が充実している
- 9. 安全・安心なまちである
- 10. 子育てがしやすい
- 11. その他

()

【問5】問3で「2」と「3」（移転したい、移転しても将来戻ってきたい）と答えた方に伺います。

移転したい理由は何ですか。（3つまで）

- 1. 周辺の居住環境がよくない
- 2. 田舎である
- 3. 交通が不便である
- 4. 隣近所との関係がよくない
- 5. 結婚等家族に関する都合
- 6. 仕事、商売、就学の都合
- 7. 日常の買い物が不便である
- 8. 各種施設が乏しい
- 9. 安全・安心に不安がある
- 10. 子育てがしにくい
- 11. その他

()

【問6】あなたは、綾部市の出来事などにどの程度関心を持っていますか。

- 1. 非常に関心がある
- 2. ある程度関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 全く関心がない

2. 綾部市のまちづくりに対する意識をおたずねします。

【問1】綾部市が前期基本計画で取り組んだ「施策の目標」に対する現在の満足度と今後の重要度についてそれぞれ5段階であてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

No.	あなたの考え 取り組んだ施策：施策の目標	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例	人権尊重社会の実現：人権が尊重される心豊かなまち。	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
① 「市民が輝き共に築くまち」の満足度と今後の重要度											
1	人権尊重社会の実現：人権が尊重される心豊かなまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	市民活動の促進：市民や市民団体のコミュニティ活動やボランティア活動への参加が進むまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	男女共同参画社会の実現：性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画のまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	平和の発信と交流：人権・平和を守る先導的な役割を担い、国際交流や国内交流による多様で個性的なまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 「心豊かな人と文化を育むまち」の満足度と今後の重要度											
5	幼児教育の充実：幼児一人ひとりの個性豊かな情操、基本的な生活習慣など「生きる力」の基礎を培うまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	学校教育の充実：魅力と特色ある開かれた学校づくり、「質の高い学力」が向上するまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	社会教育の充実：すべての市民が学習活動に参加する「市民一人1学習」のまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	青少年健全育成の推進：心身共に健康で自立性と社会性を備えた青少年を育成するまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	文化・芸術の振興：文化・芸術により心豊かな人を育む、文化が薫るまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	スポーツの振興：スポーツにより心身ともに健康な人を育み、元気あふれるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 「支えあい安心して暮らせるまち」の満足度と今後の重要度											
11	子育て環境の充実：子どもを安心して産み育てることができ、子どもの個性と可能性を育むまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	高齢者福祉の推進：高齢者が住み慣れた地域で、尊厳を持って豊かに暮らすことができるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

No.	あなたの考え 取り組んだ施策：施策の目標	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
13	障害者福祉の推進：障害のある人が住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	地域福祉社会の実現：高齢者や障害のある人をはじめ、誰もが互いに尊重され、住みよいまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	保健の推進：市民の健康づくりや疾病予防、早期発見等による健康長寿のまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	医療体制の充実：市民が安心して必要な医療を受けることができるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	社会保障の適正運営：適正な社会保障の運営により市民が安心して生活を送ることができるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 「豊かさにとぎわいを生み出すまち」の満足度と今後の重要度											
18	農林業・内水面漁業の振興：農業経営の確立と安定化、林業の活性化や森林資源の保全、水産資源の安定増殖が進むまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	農村の活性化：整った生活基盤、都市との交流、定住支援などが充実し、農村の活力と魅力があふれるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	商業の振興：地域の特色を活かした、人が集まりにぎわう商業空間のあるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	工業の振興：中小企業をはじめとした地域の工業振興が進み、地域経済の安定と雇用が確保されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	観光交流の推進：歴史・文化や自然・農村文化等を貴重な観光資源として活用した多様な観光交流が進むまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	地元雇用の確保：多様な分野における雇用機会が拡大し、すべての人が安心して働けるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 「自然豊かで安全なまち」の満足度と今後の重要度											
24	環境の保全と創造：豊かな自然環境を守り育て、次世代に引き継ぐための市民・事業者・行政が一体となった環境保全活動が進むまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	廃棄物対策の推進：ごみの減量化や再資源化による資源循環型社会に向けた取り組みが進められ、し尿・浄化槽汚泥も適正に処理するまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	上水道の安定供給：市民に安全で安心な水を継続的に供給できる上水道のあるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	下水道の整備促進：川など公共用水域の水源が保全され、生活環境を守る生活排水処理を行うまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

No.	あなたの考え 取り組んだ施策：施策の目標	現在の満足度					今後の重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
28	防災対策の推進 ：地震・豪雨等の大規模災害時の被害の軽減につながる市民・事業者・行政が一体となった防災対策が強化されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	消防・救急体制の充実 ：火災、事故等から市民の生命、身体、財産を守るための消防力が強化されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	生活の安全性の向上 ：交通安全のまち、犯罪のないまち、消費者の安全が確保されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 「快適で誰もが住みよいまち」の満足度と今後の重要度											
31	土地利用と市街地の形成 ：都市機能が充実し、中心市街地ににぎわいがあり、総合的・計画的な土地利用や都市基盤の整ったまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	住環境の整備 ：若者から高齢者、移住希望者への宅地・住宅供給など、安全で快適な住環境が確保されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	道路の整備 ：歩行者や車が安全で快適に移動できる道路環境のあるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	公共交通の充実 ：誰もが利用しやすい公共交通ネットワークが整備されたまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	公園・緑地空間の充実 ：ゆとりや憩い、レクリエーション等の場となる公園・緑地空間が充実したまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	斎場・墓地の適正管理 ：厳粛な儀式の場にふさわしい斎場・墓地が適正に管理運営されているまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	地域情報化の推進 ：地域の情報格差がなく、誰もが情報通信技術の利便性を等しく受けられるまち。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ 「計画推進のための取組」に関する満足度と今後の重要度											
38	開かれた市政の推進 ：多様な広報媒体により市政情報を発信し、市民の意見を反映できる市政運営。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39	効果的な行政運営 ：限られた行財政資源のもとで、高度化、多様化する行政需要に応えるための効率的かつ効果的な行政運営。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40	健全な財政運営 ：市税などの自主財源の安定的な確保に努め、「最小の経費で最大の効果」をあげる健全な財政運営。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41	広域連携の推進 ：周辺都市との連携・交流を深め、多様なネットワーク形成や広域事務共同化などを行う効率的な行政運営。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【問2】綾部市が“住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部”を目指して取り組んでいる以下の重点課題について、あなたにとっての優先順位を、1位～5位の番号でご記入ください。また、後期計画でこれ以外に新たにに取り組む重点課題があればその他にご記入ください。

優先順位	重点的に取り組む課題	その他 (左記以外の新たにに取り組む重点課題)
位	少子高齢化への対応	
位	産業振興による雇用確保	
位	次代を担う人材の育成	
位	市民生活における安全・安心の確保	
位	農村集落の活性化と街なかの再生	

3. まちづくりへの参加についておたずねします。

【問1】あなたは、まちづくりに参加していますか。該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

- 1. 参加している → 【問2】【問4】へ
- 2. いずれ参加したい → 【問3】【問4】へ
- 3. 現在も今後も参加したくない → 次ページへ

【問2】あなたが参加しているのはどのような活動ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域のまちづくり活動 (自治会、PTAの役員、清掃活動、防犯・防災活動など)
2. ボランティア活動 (福祉、国際交流、環境美化、青少年の健全育成など)
3. 市民参加型の活動 (各種団体のイベント活動参加など)
4. NPO (非営利組織) 活動 (環境保全、介護、子育て支援など)
5. その他 ()

【問3】どのような条件が整えば、まちづくりに参加したいと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. やりたい内容があれば
2. 時間に余裕ができれば
3. きっかけや情報が与えられれば
4. 以下の条件が整えば

具体的に

【問4】問1で「1.参加している」「2.いずれ参加したい」を選んだ方に伺います。今後は、どのような活動に参加したいですか。該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

1. 地域のまちづくり活動 (自治会、PTAの役員、清掃活動、防犯・防災活動など)
2. ボランティア活動 (福祉、国際交流、環境美化、青少年の健全育成など)
3. 市民参加型の活動 (各種団体のイベント活動参加など)
4. NPO (非営利組織) 活動 (環境保全、介護、子育て支援など)
5. その他 ()

4. 綾部市に「住んでよかった」と感じる時についておたずねします。

【問1】この質問は、日頃綾部市に住んでいてよかったと感じることを、今後の市のPR等で活用するための設問です。市民の皆様が、綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」について、選択肢から、「感じたことがある」ものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

1. 緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること。
2. 空気が澄み渡り、星空がきれいであること。
3. 地元の新鮮な農産物等に恵まれていること。
4. 温かな市民が多く交流の中で人の温かさを感じられること。
5. 平和に彩られたまちであること。
6. 海でも山でも都会でもちょうど良い時間で行けること。
7. ものづくりが盛んなまちであること。
8. その他（具体的に）



5. あなたご自身のことについておたずねします。

各項目のあてはまるものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

【問1】あなたの性別

1. 男 2. 女

【問2】あなたの年齢

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

【問3】あなたが現在住んでおられる地域

1. 綾部 2. 中筋 3. 吉美 4. 西八田
5. 東八田 6. 山家 7. 口上林 8. 豊里
9. 物部 10. 志賀郷 11. 中上林 12. 奥上林

【問4】あなたの職業

- | | | |
|-------------|---------|------------|
| 1. 会社等勤務 | 2. 自営業 | 3. 農林業従事 |
| 4. 公務員 | 5. 家事専業 | 6. 高校生 |
| 7. 高校生以外の学生 | 8. 無職 | 9. その他 () |

【問5】あなたの就学地・就業地

- | | | |
|--------|------------|--------|
| 1. 綾部市 | 2. 福知山市 | 3. 舞鶴市 |
| 4. 京都市 | 5. その他 () | |

【問6】あなたが綾部市民である期間（通算）

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1年以下 | 2. 2～4年 | 3. 5～9年 |
| 4. 10～19年 | 5. 20～29年 | 6. 30年以上 |

【問7】あなたの家族構成

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代同居 |
| 4. 3世代同居 | 5. その他 () | |

【問8】あなた以外の家族に高校生以下の子どもがいる場合はすべて選んで○をしてください。

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1. 乳児 | 2. 未就学児 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | |

【問9】あなた以外の家族に高齢者（65歳以上）はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問10】あなたは共働きですか。（結婚されている方はお答えください）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 共働きである | 2. 共働きでない |
|-----------|-----------|



最後に、綾部市政について、ご意見・ご提案などがあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

参考資料 2 : 4. 【問 1】綾部市に住んでいるからこそ感じる「幸福」その他の意見

カテゴリー	主な内容
自然 (選択肢 1 に類似)	鮎と蛭は宝物であると思う。
	四季折々の景観を楽しむことができる。綾部に帰ってくるとほっこりする。
	空の青さのみ。
	水がおいしい。
	自然があつて空気おいしい綾部の人もとても暖かくて本当に素敵な場所だと思う。この自然がいつまでも残せますように。
	特別な景観はないけれどおだやかな風景。
	緑の山々山紫水明な景観がある反面高齢期を迎えた私たちにはのどかで幸せなのかもしれないが地域が狭い関係もあるようでわずらわしさも数多くあるように感じる。また、農林や僻地などでまだまだ人権的な差別もあるように感じる。田園都市、人権が尊重される心豊かな街づくりをがんばってください。
人の温かさ (選択肢 4 に類似)	「家から見えるあなたのところの灯りが消えたから私も寝ようと家の灯りを落とす」と近所の方が。私も灯りが変化するから元気でおられるとほっと見守っていた。近所でお互い見守られて生活していたんだと知ることができた。
	高齢者が多いこと。
	引っ込み思案型の人々と交流してほっとする。福知山、舞鶴にない綾部独特の風土と人間性。
	人と人の距離が近いこと。
	隣近所長年の付き合いの住民同士で安心して生活ができる。
	それぞれの地域で村を元気にしようという意欲にあふれている。他府県から来た人たちから「綾部は地域に目を向けた施策をしてくれているからいいな」と羨ましがられている。これからもそこに暮らす人がやる気を起こさせる施策を講じてほしい。「一人はみんなのためにみんなは一人のために」の心が地域起こしの原点だと思う。
平和 (選択肢 5 に類似)	悪いニュースが少ない。犯罪少ない。
	鍵をかけなくても過ごせる。
	よくも悪くも何もない。大きなイベントはないが大きな事件もない。突出した特徴はないが、悪いところもない。
	初代市長（長岡誠）が「世界連邦」を推進し、平和な都市になっているので大変光栄であり、誇りに思う。寺山に田町内に広報設備があり広く市民に放送していたが一部の市民が「やかましい」と言って谷口市長のときに廃止したと聞いている。朝花火がなるが何の合図がわからない。全市民が理解する方法を考えてほしい。夏休みにラジオ体操の一斉放送も寺山より放送されて庭や道路に出て楽しく元気にしていた。
	日頃の暮らしで大して困ったこともなく、周囲の方と仲良く静かに日々が過ぎていくことが一番の幸せ。
交通の便 (選択肢 6 に類似)	綾部駅が京都方向と舞鶴方向の分岐なので乗り換えの手間が省けること。
	高速道や縦貫道がつながり、ますます時間短縮が可能となってきている。自然が削られ、便利になりつつも不安も感じる。
交通網の充実	あやバスの交通網が充実している。
高性能ゴミ処理場	他の町ではゴミ処理が大変だが、綾部は良い処理場でゴミ処理されるのですごく助かる。
	ゴミの分別が簡単で手間取らないこと。
大本教の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大本神様のお住まいどころで、遠き神世の昔より神様が隠しておられた綾部市にいられるだけでありがたく思う。 ・ 目に見えないものの存在を知ることができる。 ・ 節分の前日早朝に観光案内所で節分大祭のお人形が飾ってあり、中に一步踏み入っただけで神様がおられることを感じた。身を清められる思いがした（こんな簡単な

カテゴリー	主な内容
	<p>表現ではないが)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お人形も単なる人形ではなく節分の払いの役目をはたして生きているように思える。神官の役割、瀬織津姫の役割を果たし、ただ飾ってあるお人形ではないことを知らされた。居住まいを正さなければならないという思いを神様が表にでておられるというように意識をかえなければならない。 ・わからないものにとっては怖いところでもあります但怖くはないぞ、心配するなども言われる。
家族がいること	<p>家族が帰りをまっているので都会で就職せずに、綾部に戻ってきたいと思う。</p> <p>一人暮らしから帰ってきた時に安心できる、落ち着く。</p> <p>私自身良かったと思うことはないが、子供が「田舎に住んでよかった」と言っていることが唯一良かったこと。</p>
地元への親しみ	<p>農業で一生生活してきたので子どもの頃から田、畑の仕事を手伝い、自給自足で育ったので毎日楽しく仕事して、生活できることを嬉しく思う。</p> <p>高校卒業後都会へでて綾部にもどり、結婚出産をし、今に至る。子供が6か月とまだまだ小さいので思うように出かけられず、もんもんとした日を過ごすこともある。子育て支援センターが月二回ほどだけの開放でなかなか予定が合わず、もう少し開放してほしいと願う。第二子を考えているが、産院が少なくとても困る。出産でいろいろあったので福知山の市民病院でお世話になったが綾部市民なのに地元で出産できないことはとても悲しかった。子育ての面ではまだまだ不便さを感じるが生まれ育った綾部はやはり落ち着くので好きです。この綾部の自然は壊さないでください。山はできるだけたくさんおこして山崩れしないようにしてほしい。</p> <p>自分が生まれて育ったまちだから。</p> <p>子どもの頃から住み、親しんだ所です。</p> <p>私の父の実家が綾部にあり、小さいころから親しみがあつた。自然に恵まれ子どもの頃の楽しかった思い出が今も心に残っている。</p>
災害がない	<p>大きな水害や災害がないこと。(多数意見あり)</p> <p>自然災害に比較的強く安全な土地である。</p> <p>綾部はあまり発展もないが大きな災害もなく住みよい町だと思う。</p> <p>由良川の氾濫など一部地域で災害もありましたが、概ねこれといった大災害もなく平穏に暮らせていること。</p> <p>洪水の心配もなく作物が収穫できる。今のところ大きな災害もなく、穏やかに暮らせた。交通(山陰線)も舞鶴、福知山の中間にあつてよかった。水も空気もおいしい。</p>
静か	<p>都会過ぎずほどよく開けていて、落ち着いて日々暮らせること。</p> <p>静かなところ。人ごみがない。</p> <p>鍵をかけなくても過ごせる。夜は静かでエアコンなくてもほんの少し窓を開けているだけで熟睡できる環境。</p> <p>ゆったりとしたところが良い。巨大なスーパー、娯楽施設がないところもよい。環境保持は大切。</p>
渋滞がない	交通渋滞がないこと。
適度な地方開発	無理をしない範囲で世間の地方開発の波に堅実に乗れていると思う。B級グルメの発掘。悪目立ちはしない(変なゆるキャラを作るなどはしない)。
道路が広い	スーパーもあり道路も広くなり(昭和55年はセンターラインの引いている道路はほぼなく、病院とグンゼくらい)、今で十分。
風景がよい	商店街の風景が良い。
福祉、医療の充実	福祉、医療ともに比較的充実している。
ボランティアや自	私は83歳、一人暮らしですが病気もなく月一回奥上林診療所で診察を受けてとても元気である。日々野菜作りをしている。生きがいは14代続いているご先祖(両親、夫、

カテゴリー	主な内容
治会行事の充実	<p>息子 17 歳で死亡を含む) 様を 1 日でも長く供養し、家、屋敷を綺麗な状態にして暮らしていきたいと願っている。奥上林では親切なボランティアの方々の行事で、高齢者と交流をしている。また、自治会のあらゆる催しにも参加して楽しく暮らしている。</p> <p>全て立派な項目があるが、私たち地域に住んでいる高齢者は綾部中心部へ出かける機会は全くなく各地域で行われるイベントは比較的参加しやすく勉強になります。中央も大切ですが、各地域の活性化を図る催しがあれば幸い。</p>
ゆるきゃら	まゆピーがかわいい。
幸福に感じる事なし	<p>住んでよかったと感じたことはない。</p> <p>「住んでよかった」というフレーズは死ぬ直前に周りの者に言う言葉ではないのか。中高校生にもっと素晴らしい言葉を提案してもらえと思う。</p> <p>他市町村より見劣りする</p> <p>特別感じたことはない。ふつう。</p> <p>綾部に住もうと思って住んでいるのではなく、ここで産まれて、市外へも出る勇気もなかっただけ。60 年も住んでいるが綾部市に「住んでよかった」と感じたことはない。</p>